SONY

取扱説明書

この製品の機能を十分に生かして正しくお使いいただくため、
ご使用前にこの説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは大切に保管し、わからないことや不具合が
生じたときにもう一度ご覧ください。きっとお役に立ちます。

基本的な録画・再生

便利な使いかた

いろいろな使いかた
解説します
故障？

Beta β

ビデオデッキ

SL-F1

小型、軽量ビデオ。

番組の長さに合わせて録画時間が選べます。

録画時間 スイッチの位置	ビデオカセット						
	L-750	L-500	L-370	L-330	L-250	L-165	L-125
βII	180分	120分	90分	80分	60分	40分	30分
βIII	270分	180分	135分	120分	90分	60分	45分

録画・再生について

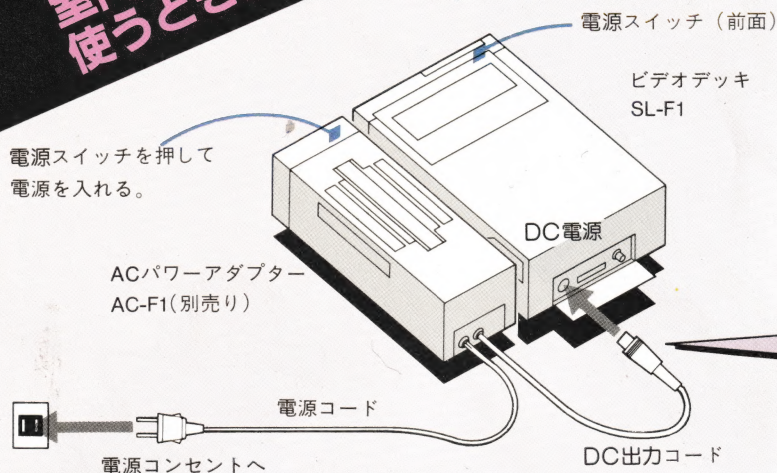
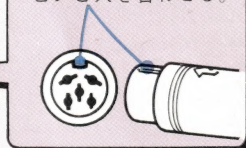
このビデオはβ（ベータ）方式のビデオです。

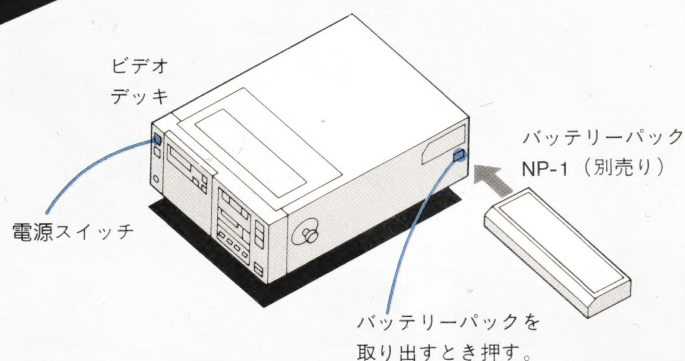
- β（またはβ□）マークのついたビデオカセットテープ以外は使用できません。また、βIIIモード（テープ速度：1.33cm/sec）で録画したテープは、βIIモード（テープ速度：2.00cm/sec）専用のビデオでは再生できませんのでご注意ください。
- このビデオで録画したテープは、β方式の当社、および三洋、東芝、新日本電気、ゼネラル（順不同）各社のビデオのβII、およびβIII各モードごとに相互に互換性があります。
- このビデオではβIモード（テープ速度：4.00cm/sec）で録画されたテープも再生ができます。
- 市販のビデオソフト（録画済みテープ）はβ（または、β□）マークのついたものをお求めください。
- テレビ放送の方式が異なる外国で作製されたビデオソフトなどは、このビデオデッキでは再生できません。

まず電源を選んでください

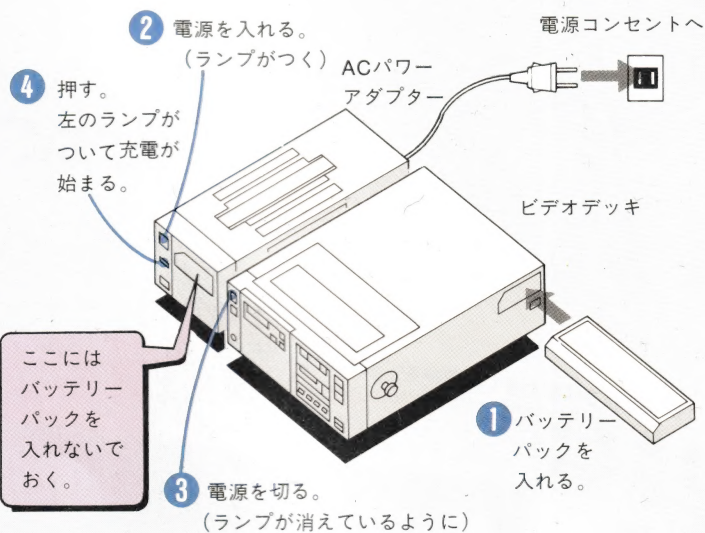
このビデオデッキは、ご家庭のコンセントや自動車のバッテリー、充電式電池で使えます。
カメラをつないである場合は、カメラへも同時に電源が供給されます。

室内で使うときは

ACパワーアダプターを使って

ACパワーアダプターの電源を入れてからビデオデッキの電源スイッチを押せば電源が入ります。
切るときは、ACパワーアダプターの電源スイッチを押すだけで電源が切れます。

屋外で使うときは

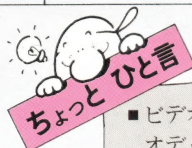
充電式電池を使って

バッテリーパックは、必ず充電してからお使いください。

充電のしかた

ACパワーアダプターを使って……つなぎかたは上の欄をご覧ください。

バッテリーパックで使える時間は

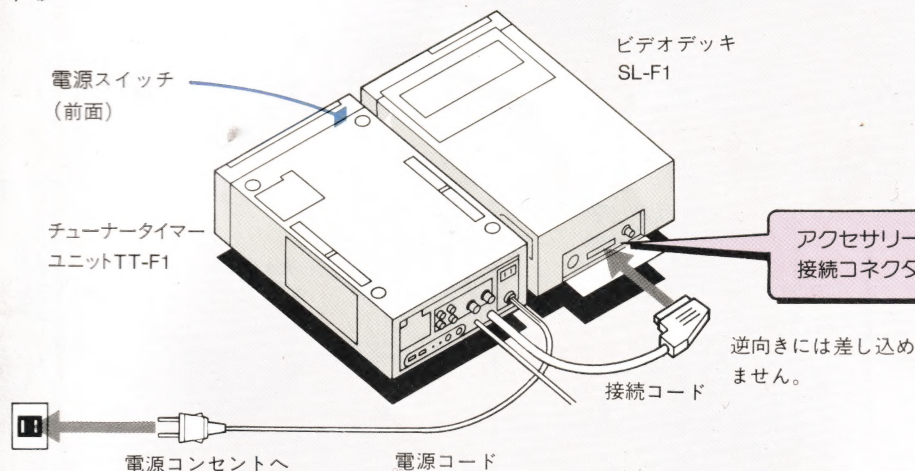
十分に充電されたバッテリーパックで、ビデオデッキとビデオカメラHVC-F1などを使った場合、約1時間使えます。
これは常温（25℃）での時間です。温度により使える時間も変わりますので注意してください。

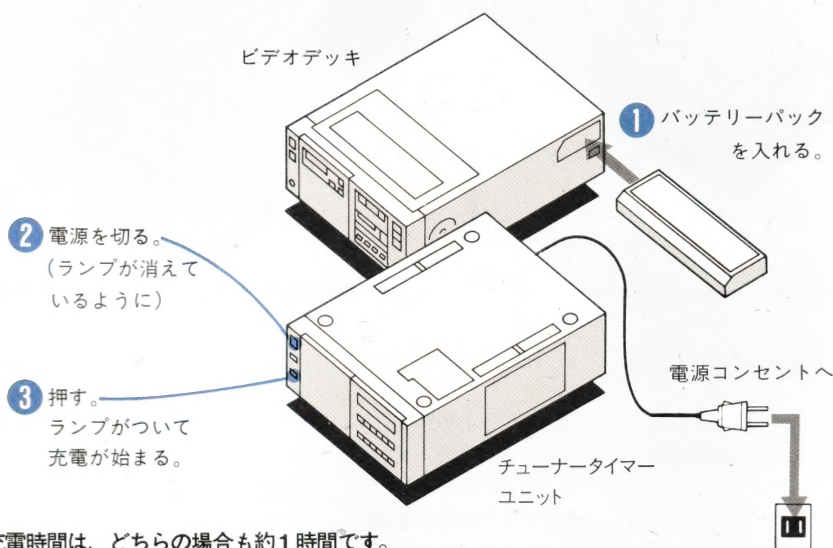
録画に出かけるときは、構図を決めたりカメラの調整をしたりする間に電池が消耗しますので、必ず予備の電池をお持ちください。

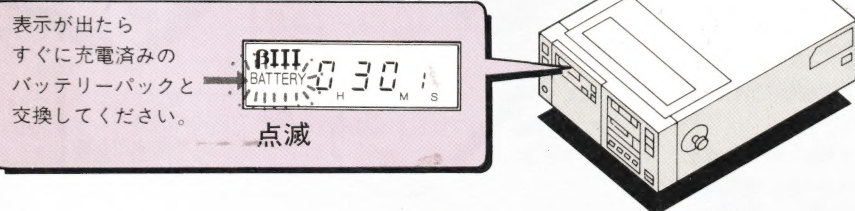
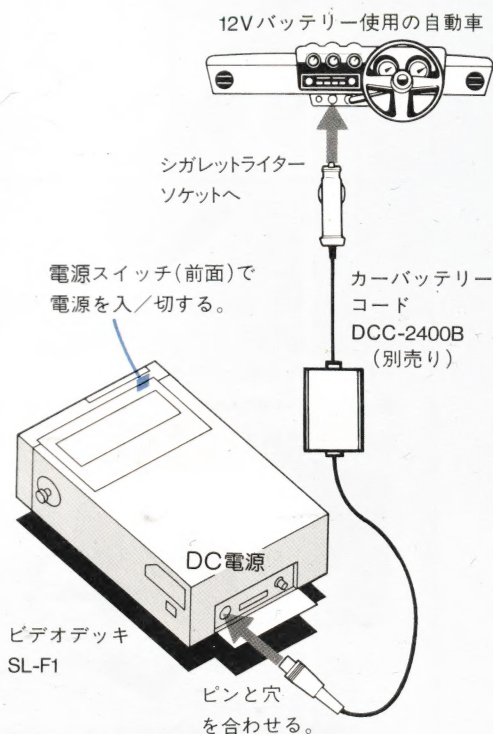
ちょっと ひと言

- ビデオデッキ内のバッテリーパックを充電している間に、ビデオデッキの電源を入れると、充電は止まります。 再び充電するときは、電源を切ってから**充電開始**ボタンを押し直してください。
- バッテリーパックが使用直後で温かくなっているときや、周囲の温度が高いときに充電すると、完全に充電されないことがあります。この場合は、お使いになれる時間が短くなりますのでご注意ください。また、使用直後数分間は、**充電開始**ボタンを押しても充電されないことがあります。
- ACパワーアダプターだけでも充電できます。
  ACパワーアダプターの取扱説明書をご覧ください。
- 2個同時に充電することはできません。
  ACパワーアダプターとビデオデッキの両方にバッテリーパックが入っている場合は、アダプター内のバッテリーパックだけが充電されます。

覚えておきましょう!

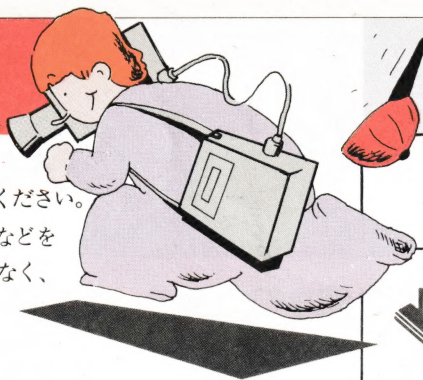
このビデオデッキでは、使っている電源によって電源の入れかたが異なります。操作説明の中で次のマークで示されたところは、それぞれの電源で使用しているときの説明です。

チューナータイマーユニットを使って

この場合、ビデオデッキの電源スイッチは働きません。
チューナータイマーユニットの電源スイッチでビデオデッキの電源も入/切されます。
ただし、電源が切れるのは、スイッチを押してから約1秒後です。

チューナータイマーユニットを使って……つなぎかたは上の欄をご覧ください。

充電時間は、どちらの場合も約1時間です。
充電されると自動的に充電が止まり、**充電中**ランプが消えます。

電池を換える時期は……タイムカウンターがお知らせします。
BATTERY表示が出てから30秒ほどで自動的に電源が切れます。

自動車のバッテリーを使って

詳しくは、カーバッテリーコードの取扱説明書をご覧ください。

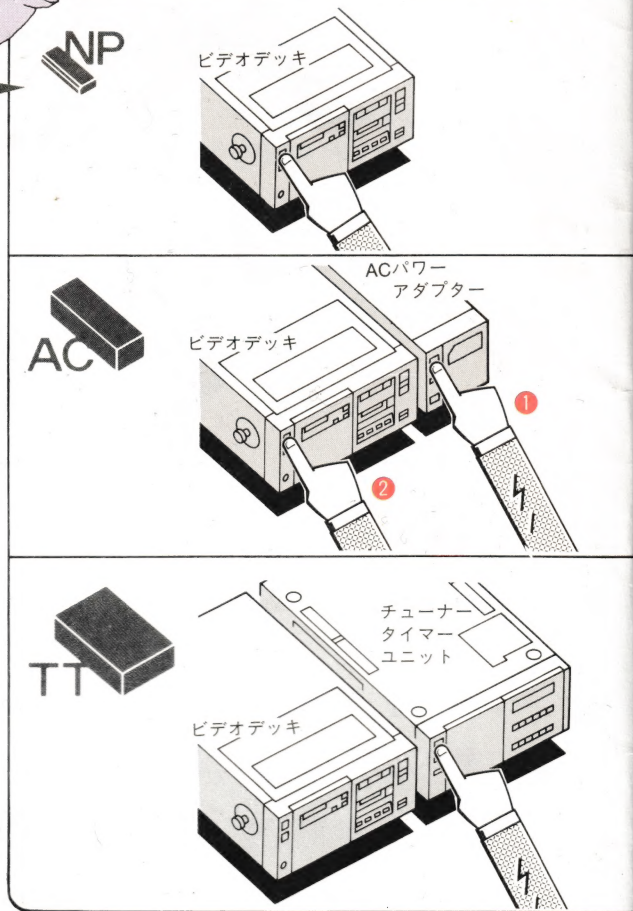
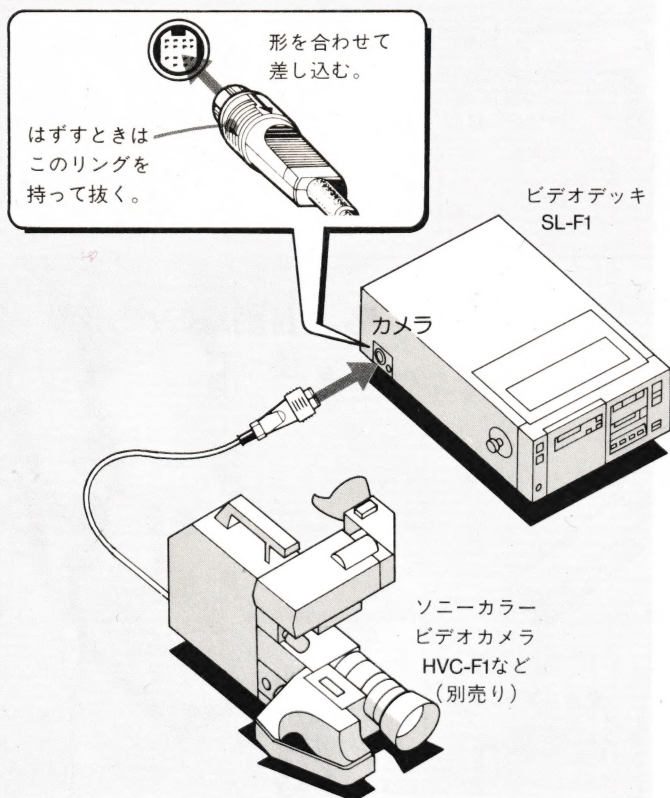
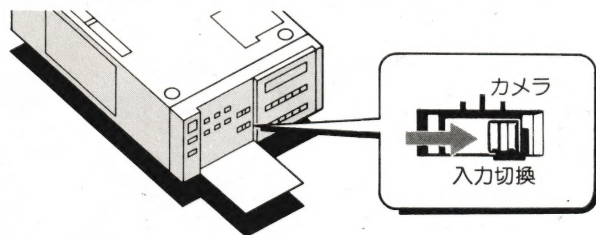
ビデオデッキにACパワーアダプターやチューナータイマーユニット、カーバッテリーコードをつなげば、ビデオデッキ内にバッテリーパックが入っていても、外部からの電源で使えます。

カメラ録画

ビデオカメラを使って、ゴルフのレッスンや
子供の成長記録など、自作のビデオをお楽しみください。
別売りのソニーカラービデオカメラHVC-F1などを
使えば、コード1本で簡単につなげるばかりでなく、
録画の一時停止をカメラのボタンで
コントロールすることもできます。

カメラをつなぎます

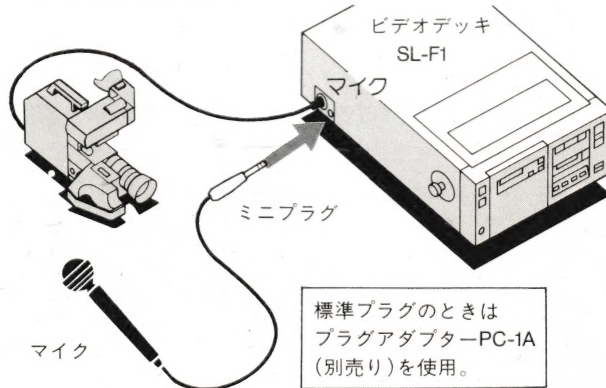
まず電源をつないで（4ページ）、カメラを接続してください。

さあ録画してみましょう。

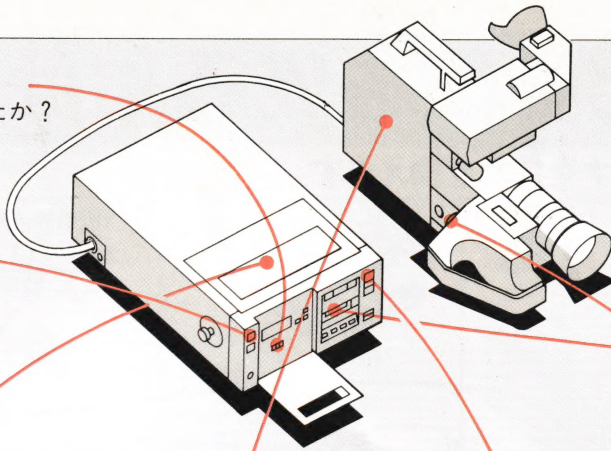
1 電源を入れる。

チューナータイマーユニットをつないでいるときは
必ず入力切換スイッチを“カメラ”の位置にしてください。

カメラ撮りしている画像をテレビで見るには

テレビをつないでおくと、録画中の画像をテレビの画面に映すことができますので、カメラの調整などに便利です。
ただし、バッテリーパックで使っている間はふつうのテレビでは画像を見ることはできません。録画中の画像の確認をしたいときは、映像入力端子付きのテレビ（KV-4P1など）やカラーモニターをお使いください。

外部マイクを使う場合は
マイクを差し込むとカメラに内蔵のマイクは切れて、外部マイクからの音が録音されます。

標準プラグのときは
プラグアダプターPC-1A
（別売り）を使用。

■大切な録画（結婚式など）の場合は、必ず事前にためし撮りをし、正常に録画、録音されていることを確認してください。

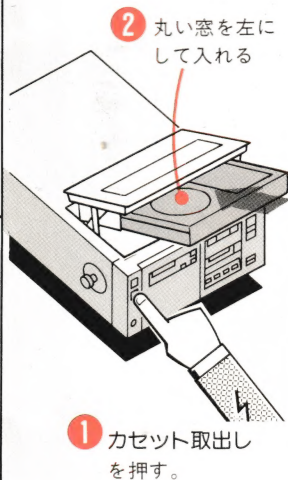
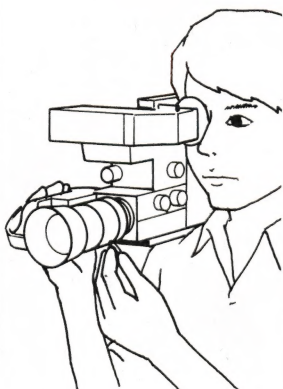
■ビデオカメラやビデオデッキ、テープの使用中、万一これらの不具合により録画されなかった場合の録画内容の補償については、ご容赦ください。

録画時間は
合わせましたか？

他のビデオデッキで再生する場合は、あらかじめテープを少し送ってから録画を始めてください。

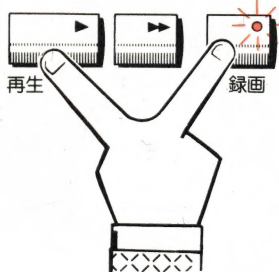
テープのはじめから録画、再生するとき、このビデオデッキでは、他のビデオデッキ（SL-J1、J9など）より少し手前から録画、再生が始まります。（βⅡで約10秒、βⅢで約15秒）

2 カセットを入れる。

❷ 丸い窓を左にして入れる

❶ カセット取出しを押す。

3 カメラの調整をする。

カメラの取扱説明書をご覧ください。

4 録画（○）を押しながら再生（▷）を押す。

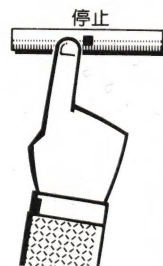
再生　録画

ビデオデッキは一時停止状態になる。

5 カメラのテープ走行を押す。

テープ走行

録画が始まる。

録画を止めるときは

停止

テープが終わると

自動的に最初まで巻き戻されて止まる。

録画を一時的に止めるには

カメラのテープ走行ボタンか、ビデオデッキの**一時停止**ボタンを押してください。また録画を始めるときは、もう一度押します。こうしてつなぎながら録画した画面は、つなぎ目での乱れがありません。（24ページ）

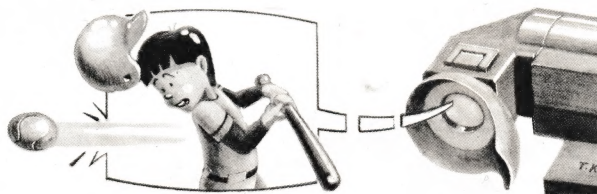
ビデオデッキは8分以上一時停止状態が続くと、自動的に操作ボタンのランプが消え、バッテリーパックで使っているときは、停止状態になり、その他の電源で使っているときは、録画状態に戻ります。これはテープとデッキ内部の機構を保護するためです。

バッテリーパックでお使いの方へ

電池の消耗をおさえるため、長く録画を中断するときは、**停止（■）**ボタンを押してください。停止状態から再び**録画（○）**と**再生（▷）**のボタンを押すと、ビデオデッキは一時停止の状態になりますので、画面のつなぎ目での乱れはありません。

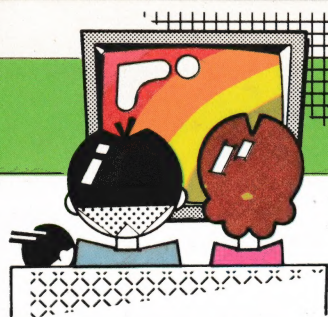
バッテリーパックで使っているときは、**停止（■）**ボタンを押したあと8分以上テープを動かさずにいると、自動的に電源が切れ、電池のムダな消耗をおさえます。

映したその場ですぐに見るには

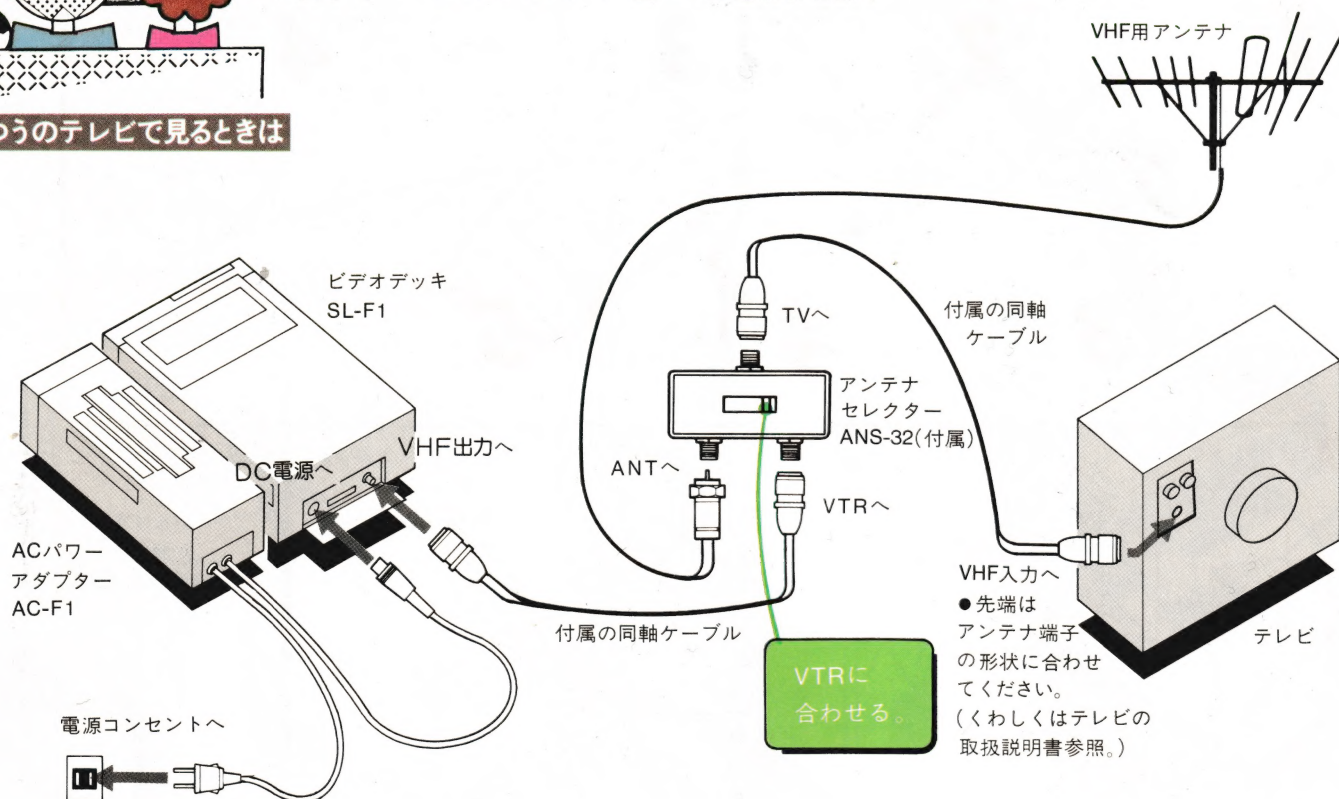
❶**巻戻し**（◁◁）ボタンを押してテープを巻き戻します。
❷適当なところで**再生**（▷）ボタンを押してください。
カメラのビューファインダーに、いま撮ったばかりの画像が映ります。

止めるときはビデオデッキの**停止（■）**ボタンを押してください。

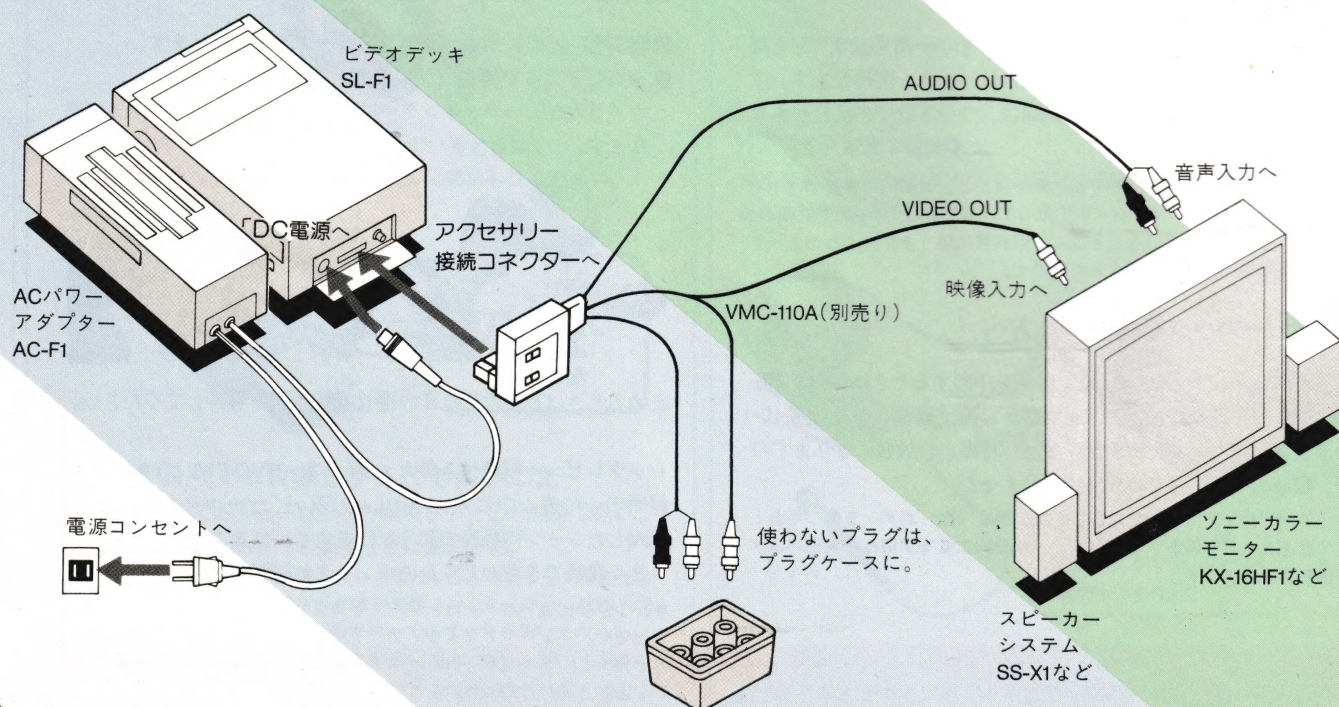
レックレビュー機能付きのカメラ（ソニーHVC-F1など）を使うと

録画の一時停止中にカメラの**レックレビュー**ボタンを押すと、録画したシーンの最後の部分だけをすぐに見ることができます。うまく録画できたかどうかのチェックに便利です。

●**レックレビュー**ボタンは、テープが止まったのを確かめてから押してください。フェードアウト中、テープが止まる前に**レックレビュー**ボタンを押すと、テープが一時停止せずに、暗い画面が続けて録画されることがあります。このときは、ビデオデッキの**一時停止**ボタンか**停止**ボタンを押してテープを止めてください。

録画した画像を見るには

まずテレビのアンテナをつなぎ換えます

ふつうのテレビで見るときは

カラーモニターを使うときは

ソニー"プロフィール"シリーズなどのカラーモニターを使うと、一層質の高い画像がお楽しみいただけます。また、バッテリーパックを使って録画している間も、録画中の画像が見られます。

●テレビチューナーを組み合わせるときには、テレビチューナーの映像出力と音声出力にVIDEO INとAUDIO INのコードをつなぐと、テレビ番組を録画できます。

さあ、再生してみましょう

●カラーモニターの場合は2と5の操作はいりません。

1 電源を入れる。

ACパワーアダプター ①電源

ビデオデッキ ②電源

2 チャンネル切換

1CH

2CH

1チャンネルと2チャンネルのうち、放送のない方のチャンネルに合わせる。

3 カセットを入れる。

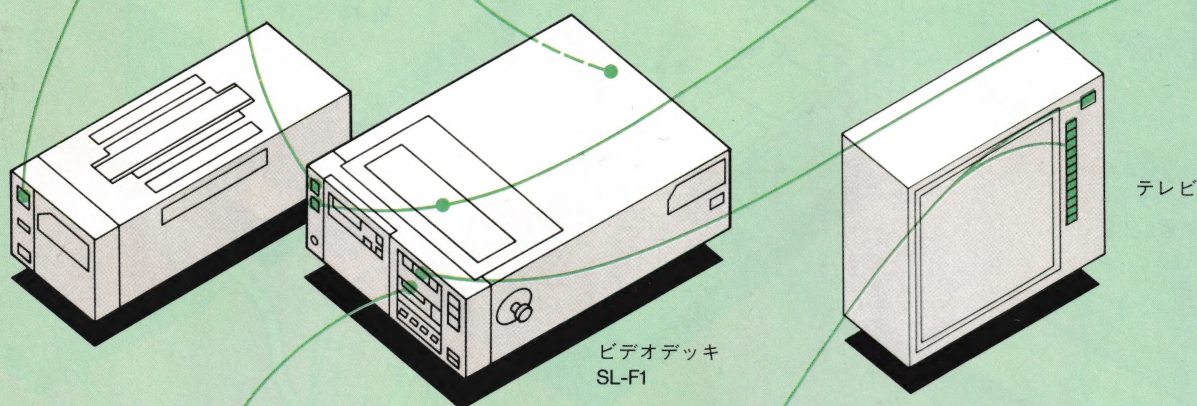
① カセット取出しを押す。

② 丸い窓を左にして入れる。

4

巻戻し　再生　早送り

テレビ

ビデオデッキ SL-F1

再生をやめるとき

停止

テープが終わると
自動的に最初まで巻き戻されて止まる。

5 電源を入れて2で選んだチャンネルに合わせる。

きれいに映らないときは

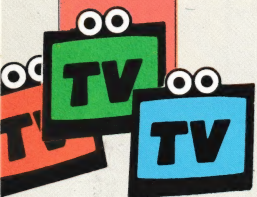
微調整つまみを調節する。

ボタン式チャンネルのテレビで2で選んだチャンネルに合ったボタンがないときは、空いているボタンを選んで、ビデオの画像がきれいに映るように調節する。

くわしくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

●一度2の操作をしてしまえば、次から使うときは2の操作は必要ありません。

最初までテープを巻き戻して見るには

テレビ録画

テレビ番組の録画には、チューナータイマーユニットTT−F1（別売り）をお使いください。

チューナータイマーユニットをつなぎます

アンテナ

ビデオデッキ
SL-F1

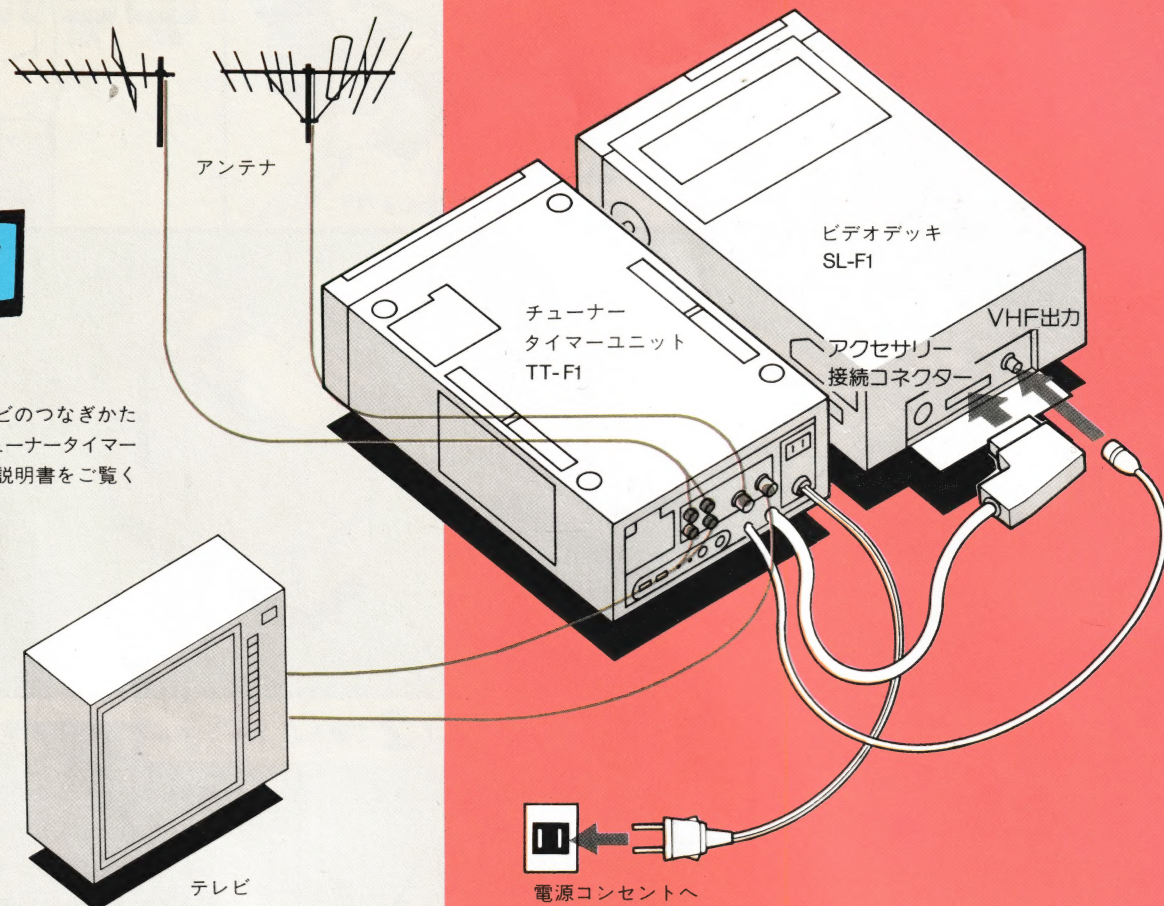
チューナー
タイマーユニット
TT-F1

VHF出力

アクセサリー
接続コネクター

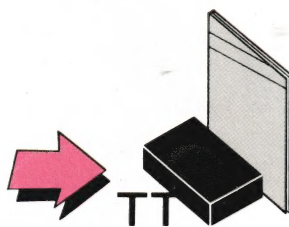
アンテナやテレビのつなぎかたについては、チューナータイマーユニットの取扱説明書をご覧ください。

テレビ

電源コンセントへ

テレビのチャンネルを合わせます

録画中の番組や、いったんビデオにとった番組をテレビで見るためには、テレビのチャンネルのひとつをビデオ用に合わせる必要があります。
ビデオデッキ裏面の**チャンネル切換**スイッチを1チャンネル(1CH)か2チャンネル(2CH)のどちらか、放送のない方に合わせてから、テレビをこのチャンネルが受信できるように調整してください。詳しい調整方法はチューナータイマーユニットの取扱説明書をご覧ください。

ここで選んだチャンネルが“ビデオ用チャンネル”となりますので、ビデオを使うときはいつも、テレビをこのチャンネルに合わせてください。

あなたが
テレビ放送やレコード・
録画物などから録画・録音
したものは、個人として
楽しむなどのほかは、
著作権法上、権利者に
無断では使用でき
ません

1

テレビの電源を入れ、
"ビデオ用のチャンネル"
を選ぶ。

2

電源

ランプが
つくように

ビデオデッキの電源も
同時に入る。

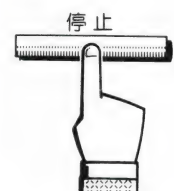
3

ビデオ

ビデオ/テレビ
切換

ランプが
つくように

テレビ

チューナー
タイマーユニット
TT-F1

録画時間は
合わせましたか？

ビデオデッキ
SL-F1

録画をやめたいときは

停止

4

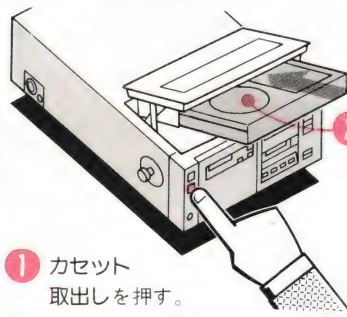
内蔵チューナー

入力切換

中央に

5

録画する
チャンネルを
選ぶ。

1 2 3 4 5 6
7 8 9 10 11 12

6

カセットを入れる。

① カセット
取出しを押す。

② 丸い窓を
左にして
入れる。

7

録画(○)を
押しながら
再生(▷)を
押す。

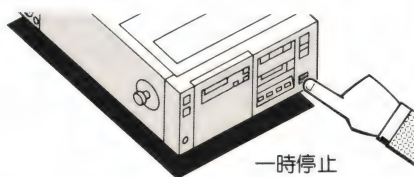
ランプが
つくように

再生

録画

録画が始まる。

テープを一時的に止めるには

一時停止ボタンを
押してください。

テレビの画面には引き続き番組が映っていますが、テープは止まり、録画はされません。
再び録画を始めるときはもう一度同じボタンを押します。
こうして不要な部分をカットすることができます。

8分以上一時停止の状態が続くと、操作ボタンのランプが消え、ビデオデッキは自動的に録画に戻ります。これは、テープとデッキ内部の機構を保護するためです。

録画しながら別の番組を見るには

同じ時間に見たい番組が2つあるとき、一方の番組を録画しながら、同時に別の番組を見ることができます。

1. 上のようにして録画したい番組の録画を始めます。
2. チューナータイマーユニットの**ビデオ／テレビ切換**スイッチを押して**ビデオ**ランプを消します。
3. テレビのチャンネルでいま見たい番組を選びます。

録画した番組を見るには

巻戻し（◁◁）ボタンを押してテープを巻き戻し、**再生**（▷）ボタンを押せば、いま録画した番組が見られます。
止めるときは**停止**（■）ボタンを押します。

タイマー録画

別売りのチューナータイマーユニットTT-F1と組み合わせると、お好きな時刻にお好きな番組を自動的に録画しておくことができます。
しかも、最高4つまでの番組を2週間以内のお好きな日に予約することができますので、旅行などにお出かけの前に予約して、あとでゆっくりお楽しみください。

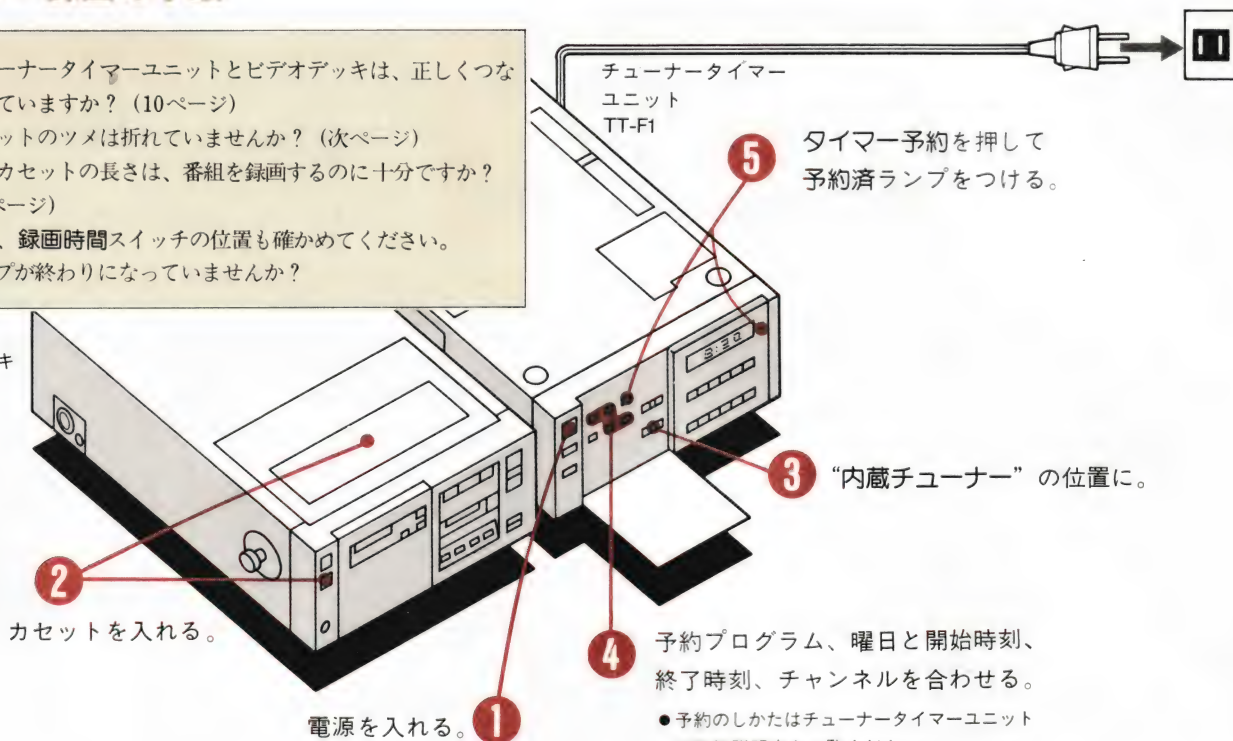
タイマー録画の手順

予約前のチェックポイント

1. チューナータイマーユニットとビデオデッキは、正しくつながっていますか？（10ページ）
2. カセットのツメは折れていませんか？（次ページ）
3. 使うカセットの長さは、番組を録画するのに十分ですか？（3ページ）
   また、録画時間スイッチの位置も確かめてください。
4. テープが終わりになっていませんか？

チューナータイマーユニット TT-F1

ビデオデッキ SL-F1

1. 電源を入れる。
2. カセットを入れる。
3. “内蔵チューナー”の位置に。
4. 予約プログラム、曜日と開始時刻、終了時刻、チャンネルを合わせる。
   - 予約のしかたはチューナータイマーユニットの取扱説明書をご覧ください。
   - 録画中はタイマー予約はできません。
5. タイマー予約を押して予約済ランプをつける。

予約した時刻になると
自動的に電源が入って録画が始まり、終了時刻（またはテープの終わり）になると電源が切れます。
タイマー録画の場合は、テープが終わると電源が切れ、巻き戻しは行われません。

録画予約後ビデオデッキを使うには

いったんタイマー予約ボタンを押すと、ビデオデッキやチューナータイマーユニットのボタン類や電源スイッチは働かなくなりますので、間違いなく録画することができます。
予約後ふつうにビデオを使いたいときは、チューナータイマーユニットのタイマー予約ボタンを押して、予約済ランプを消せば、ふつうに使えます。
予約録画が始まってから録画を止めるときも、タイマー予約ボタンを押してください。

停電があったときは

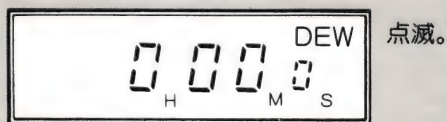
時計が日曜日の“0:00”で止まっていたら
予約内容がすべて取り消されてしまっています。
もう一度時計を合わせ、最初から予約し直してください。

10分以内の短い停電なら
チューナータイマーユニットの内蔵電池が予約内容を保っています。この場合は時計も正確な時刻を示していますので、そのまま最初の予約通りに録画されます。

録画中に停電したら
録画はそこで中断されます。
10分以内の短い停電のときは、停電後、再び録画が始まりますが、長い停電で予約内容が取り消されてしまったときは、停電が終わってもビデオデッキは止まっています。

冬、暖房のきいた部屋の窓がくもったり、夏でもお風呂場の窓がくもったりするのを皆さんはご存知ですね。ビデオデッキの内部でも、同じようなことがおこります。

寒い時期にはご用心!

冷えた戸外から急に暖かい室内にビデオデッキを持ち込んだり、湯気や湿気のたち込めた部屋に置いておくと、デッキの内部に水滴がつくことがあります。そのままではテープがデッキ内部の部品にはりついたりして、正常に働かないばかりでなく、テープやデッキをいためてしまいますので、このデッキにはこれを防ぐ安全装置がついています。
水滴がつくと電源を入れてもデッキは働かなくなり、タイムカウンターに“DEW”(露)の文字が表示されます。

“DEW”表示が出たときは → すぐにカセットを取り出し、電源を入れたまま“DEW”表示が消えるまでお待ちください。

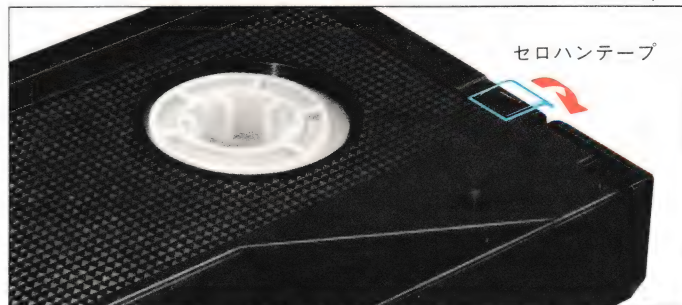
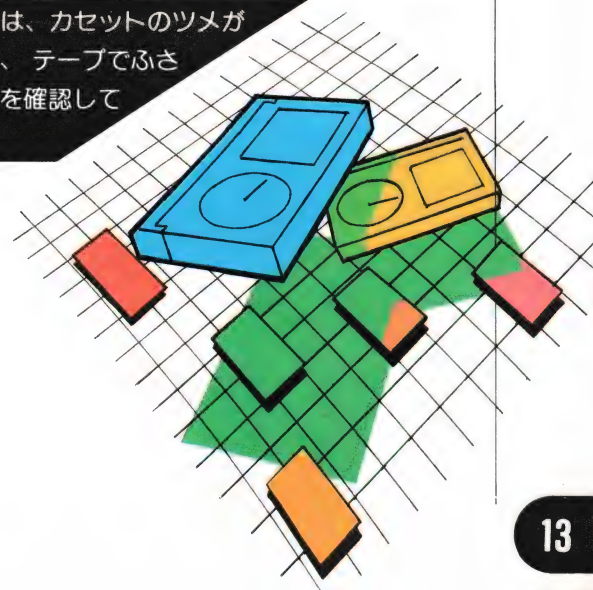
●バッテリーパックで使っている場合、“DEW”表示が消えるまでの時間は周囲の状況により大きく変わってきます。数時間以上待っても表示が消えない場合は、チューナータイマーユニットかACパワーアダプターをつないでください。

チューナータイマーユニットやACパワーアダプターをつないだときは
デッキに内蔵されているヒーターが働いて、短時間(約1時間半)で水滴を取り除くことができます。また、気温が15℃以下になると自動的にヒーターがデッキの内部をあたためますので、水滴もつきにくくなります。
●チューナータイマーユニットのリモコン/ヒータースイッチは自動の位置にしておいてください。

録画をすると前の録画は消えてしまいます

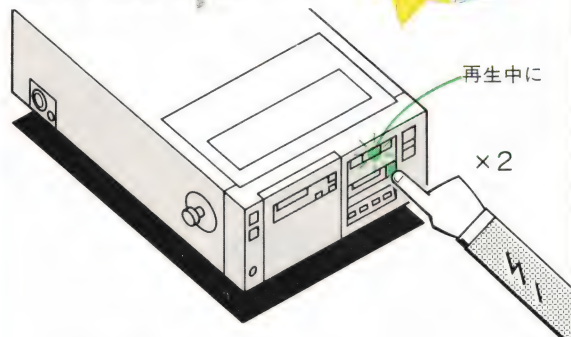
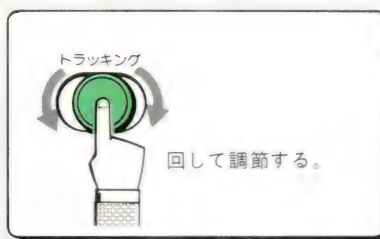
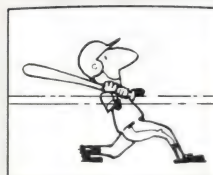
大切に保存しておくつもりの録画済みテープにうっかり再録画して前の内容を消してしまう……そんな失敗を防ぐために、ビデオカセットの裏にあるツメをご利用ください。

ツメのないカセットには録画できません。
ツメをドライバーなどで折っておくと、録画しようとしても録画ボタンが働かなくなり、大切な録画を間違って消してしまう心配がありません。
折ったツメは完全に取り除いてください。

ツメが折れたカセットにまた録画するには
ツメを折った穴をセロハンテープでふさぐと、元通りに録画できるようになります。

録画するときは、カセットのツメがついているか、テープでふさいであることを確認してください。

いろいろな再生画像を見るには
スイングサーチ

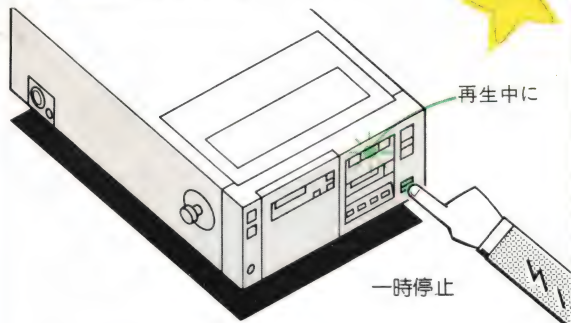
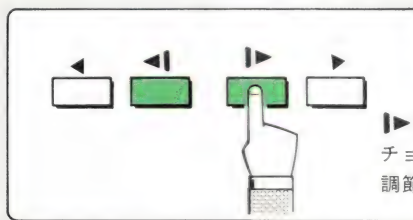
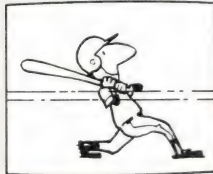
このビデオデッキでは、ふつうの速度での再生のほかに、静止画やスローモーション、倍速再生、コマ送り、逆戻り再生といった、ビデオならではの楽しい再生画像を見ることができます。
録画した画像をゆっくり送ったり早くしたり……決定的瞬間を止めて見たり……。お好みに合わせてお楽しみください。

2倍速再生

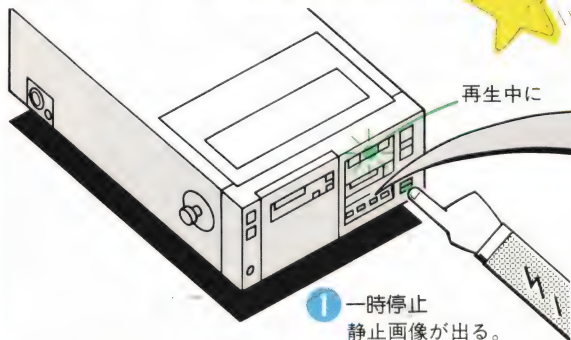
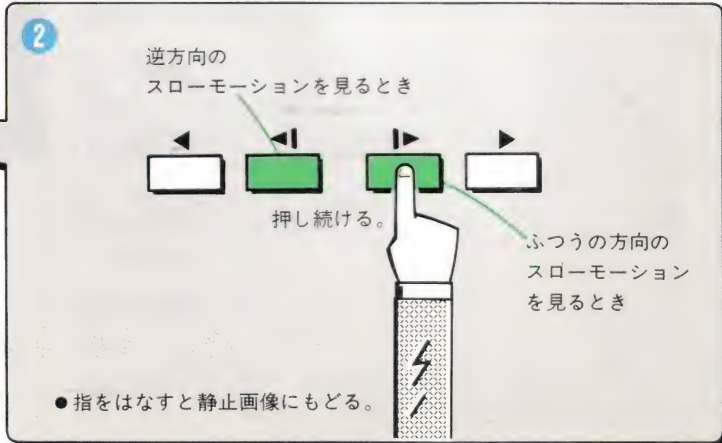
早送り画像を見るには

ふつうの再生にもどすには……
再生（▷）ボタンを押すか、×2ボタンをもう一度押してください。

画面の横縞をなくすには

●トラッキングつまみは、2倍速再生が終わったら、必ず中央の位置にもどしてください。

静止画

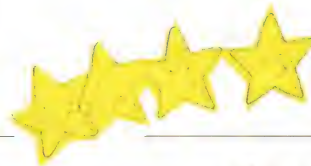
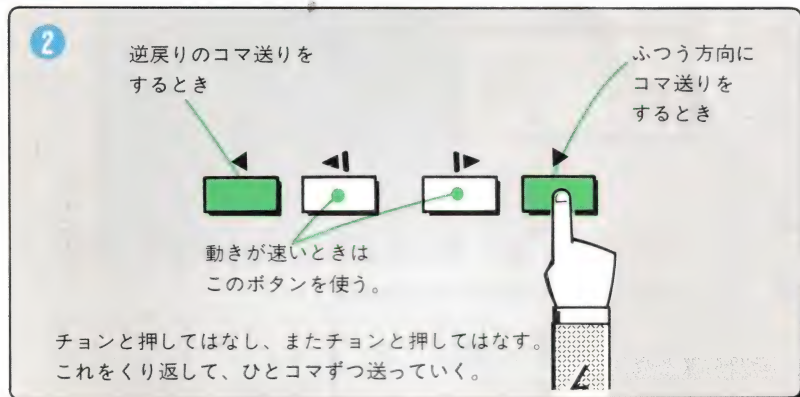
画像を止めるには

ふつうの再生にもどすには……
一時停止ボタンをもう一度押してください。

画面の横縞をなくすには

スロー再生

スローモーション画像を見るには

ふつうの再生にもどすには……
一時停止ボタンをもう一度押してください。

スイングサーチ中は、音声は聞こえません。
また、 ΒI モードで録画されたテープでは
スイングサーチはできません。

コマ送り

動きを分解して見るには

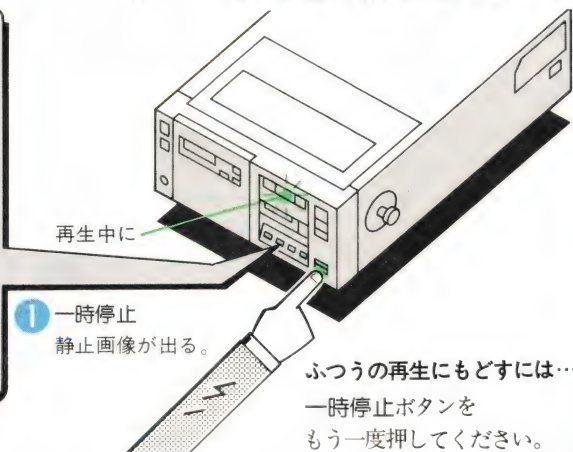
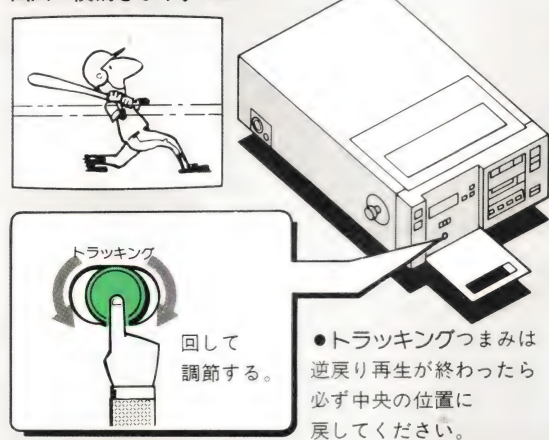
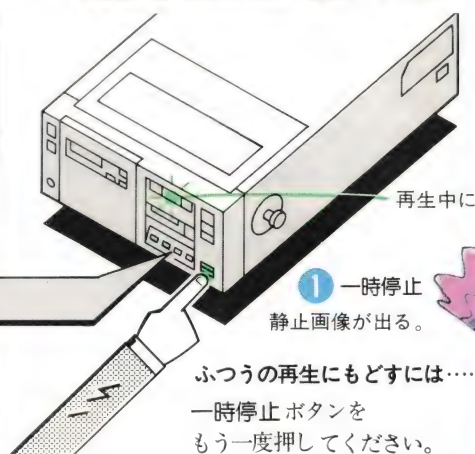
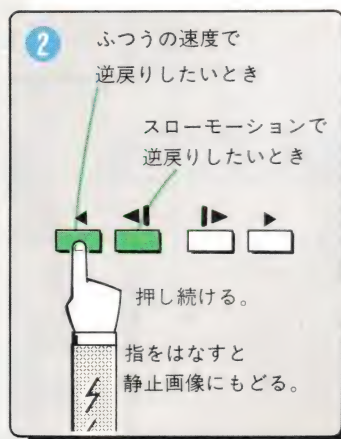
ふつうの再生にもどすには……
一時停止ボタンを
もう一度押してください。

●ボタンを押している時間が長いと動きが速く、短いと遅くなります。

逆戻り再生

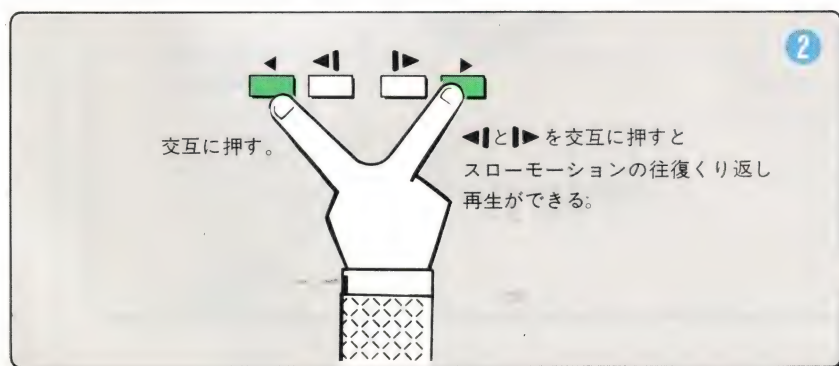
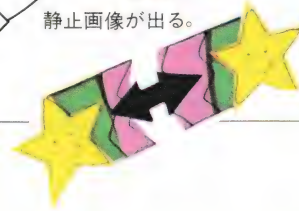
画像を逆方向に動かすには

画面の横縞をなくすには

●トラッキングつまみは逆戻り再生が終わったら必ず中央の位置に戻してください。

ふつうの再生にもどすには……
一時停止ボタンを
もう一度押してください。

往復くり返し再生

ある場面を行ったり来たりして くり返し見るには

希望の所をさがすには

テープ全体の内容に索引をつけるには

タイムカウンター

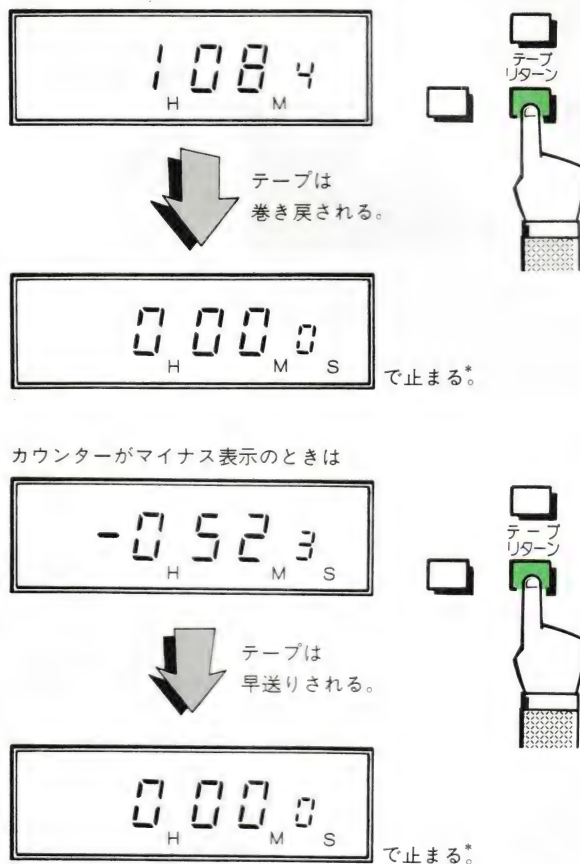
タイムカウンターはテープの走行時間を示しますので、これを利用すると、録画内容に索引をつけることができます。
録画や再生のとき、テープの最初で**ゼロセット**ボタンを押し、カウンターを“0.00.0”にします。
録画や再生をしながら、録画内容と番組のはじめのカウンター表示をメモしておけば、あとで早送りや巻き戻しをして、希望の所を見つけるのが簡単です。

電源が切れるとカウンター表示はゼロに戻ります。
途中で電源を切ると、次に電源を入れたときカウンターの表示は前の表示に関係なく“0.00.0”となり、メモした表示と変わってしまいます。電源は途中で切らないようにしましょう。
カウンター表示“0.00.0”からさらにテープを巻き戻すと、カウンターの表示はマイナスの時間を示します。

何も録画されていないテープではカウンターは働きません。
タイムカウンターは録画のときに同時に記録されていく信号（24ページ参照）を検出して働きます。何も録画されていないテープではカウンターの表示は動きません。

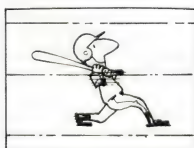
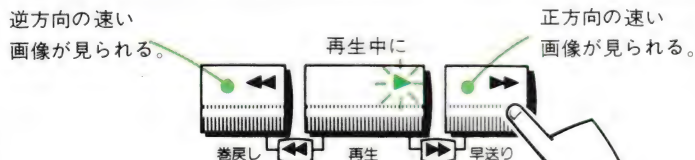
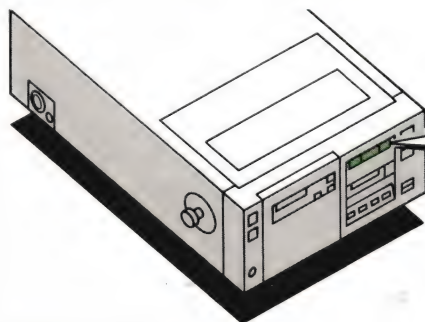
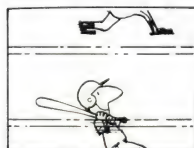
見たい所へすばやく戻るには

テープリターン

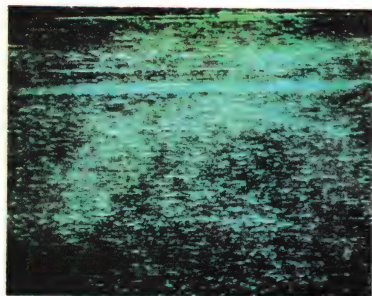
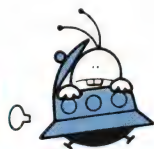
録画や再生のとき、あとでもう一度見たい部分がきたら、そこで**ゼロセット**ボタンを押し、カウンター表示を“0.00.0”にしておきます。
録画や再生などが終わったら、**停止**（■）ボタンでテープを止めてから**テープリターン**ボタンを押すと、テープは前に**ゼロセット**ボタンを押した位置までできて止まります。

＊テープが止まる位置のカウンター表示は多少前後します。

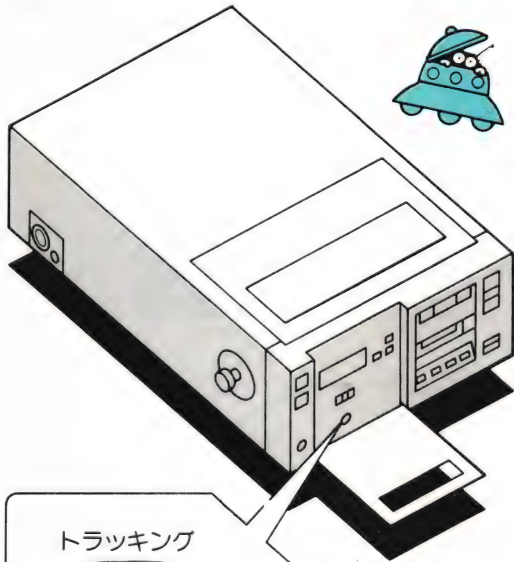
高速で画像を見ながらさがすには

ピクチャーサーチ

再生（▷）ボタンを押してから、**早送り**（▷▷）または**巻戻し**（◁◁）ボタンを押してください。
ボタンを押している間だけ、再生画像が高速で送られ、指をはなすとふつうの再生に戻ります。

ピクチャーサーチ中は数本の横縞（しま）が入ります。

ピクチャーサーチ中に画像が上下に流れるときは？
――テレビの垂直同期つまみを調節してみてください。

画像はきれいですか?

画像がザラザラしたり、消えたりする

ビデオヘッドをクリーニングしてください。
長い間使っているうちにテレビ番組はきれいに映るのに、ビデオを再生すると画像が出なかったり画面がザラザラするようになったときは、ビデオヘッドの汚れによることがあります。
別売りのソニービデオヘッドクリーニングテープL-25CLを使ってクリーニングしてみてください。クリーニングテープは使いかたを誤るとビデオヘッドをいためることがあります。クリーニングテープの説明書をよく読んでからお使いください。

そのカセットを見終わったら、必ずつまみを元の位置（まん中のカチッと止まるところ）にもどしてください。

画像が曲がったり、白くチラついた画面になる

他のビデオデッキで録画したカセットではありませんか?
もしそうなら、前のふたをあけ、中の**トラッキング**つまみを調節してください。

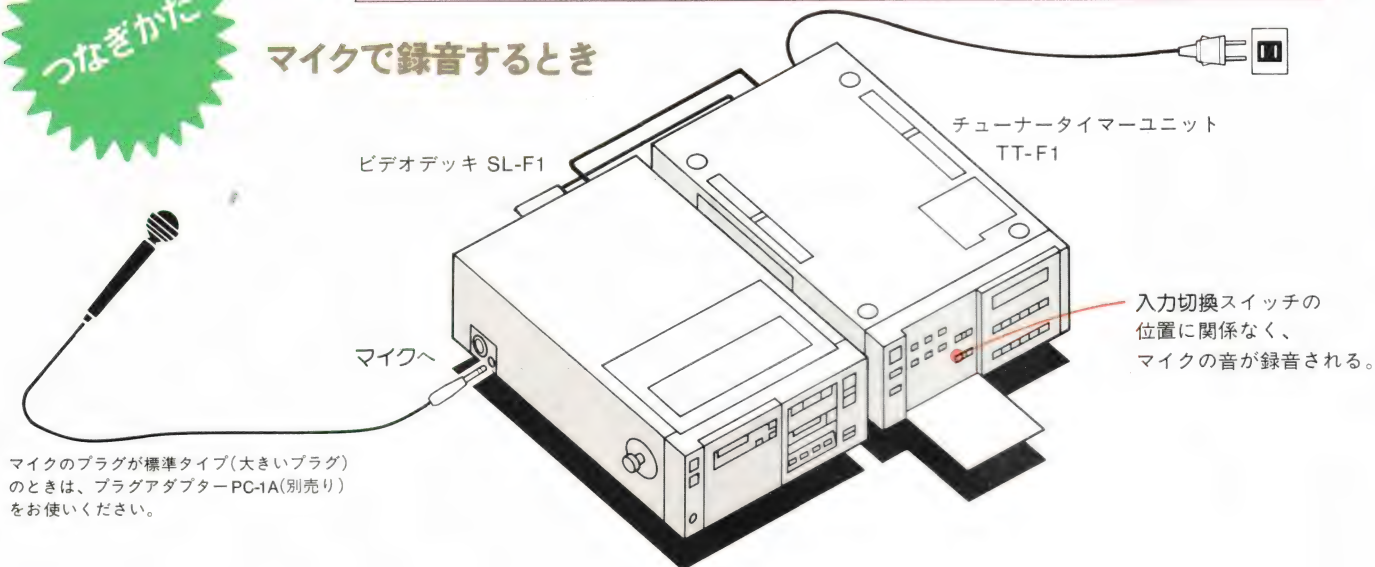
あとから音だけを録音するには アフレコ

録画済みのカセットに、あとから録画内容に合わせた音楽やナレーションなどを録音することができます。前に録画した画像をテレビで見ながら録音できるので、自作の番組を作るのに便利です。

ちょっと ひと言
アフレコでは、前の音は消されて新しい音が録音されますが、画像は前のまま残ります。
また、何も録画されていないテープに音声だけを録音することはできません。

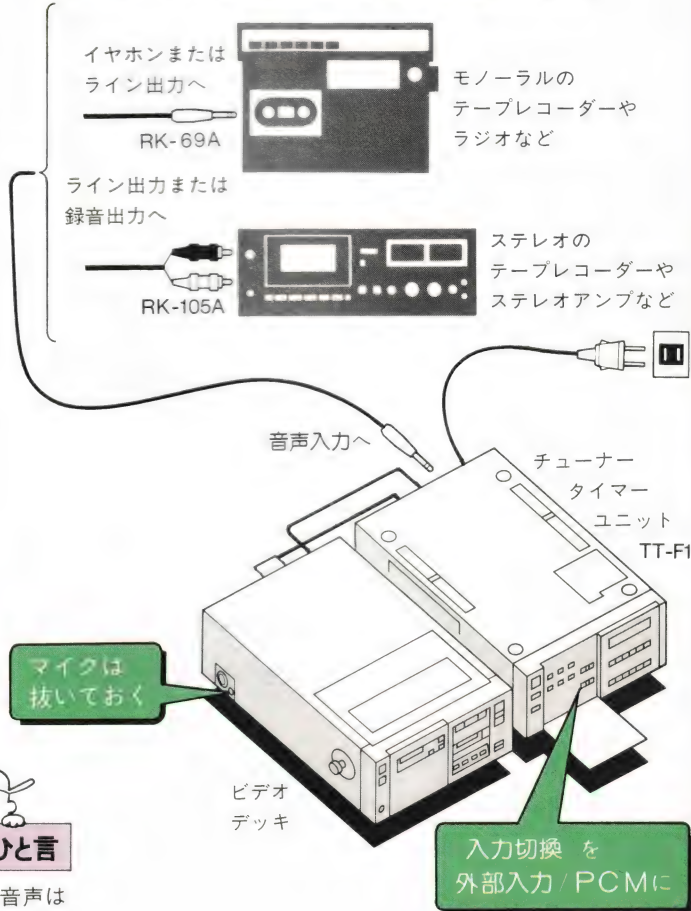
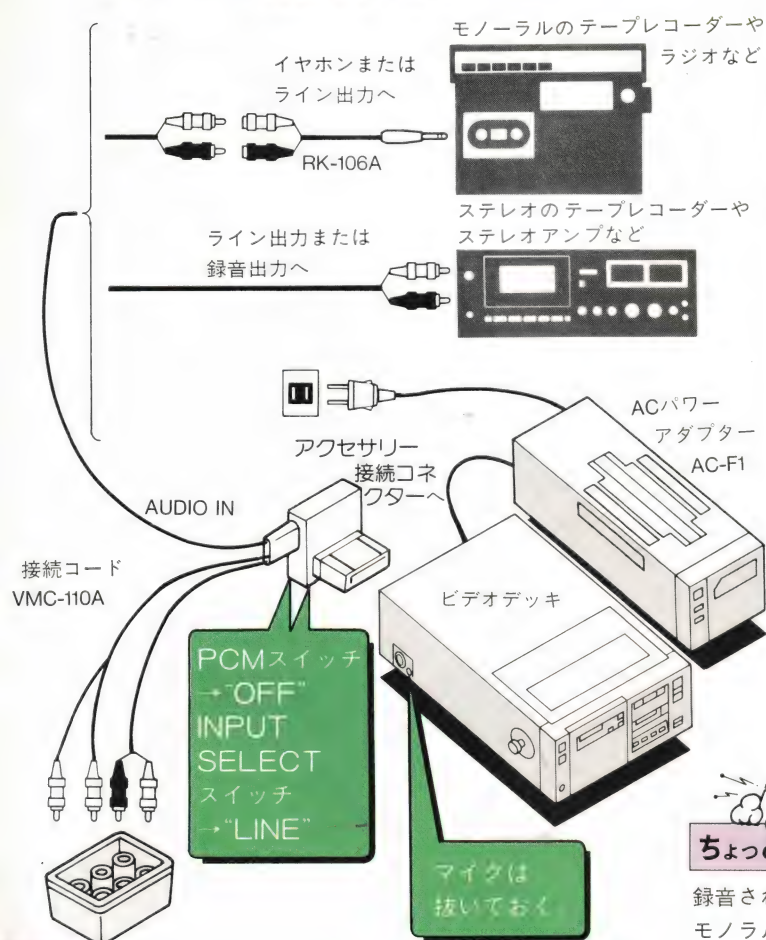
つなぎかた

マイクで録音するとき

マイクのプラグが標準タイプ(大きいプラグ)のときは、プラグアダプターPC-1A(別売り)をお使いください。

テープレコーダーやラジオ、ステレオなどから録音するとき

ビデオデッキに直接録音するには

チューナータイマーユニットを使って録音するには

ちょっと ひと言
録音される音声は
モノラルです。

はじめにどの部分でどんな音声を入れるのかを決め、音源になるマイクやテープレコーダーなどの準備をしてから次のように操作してください。

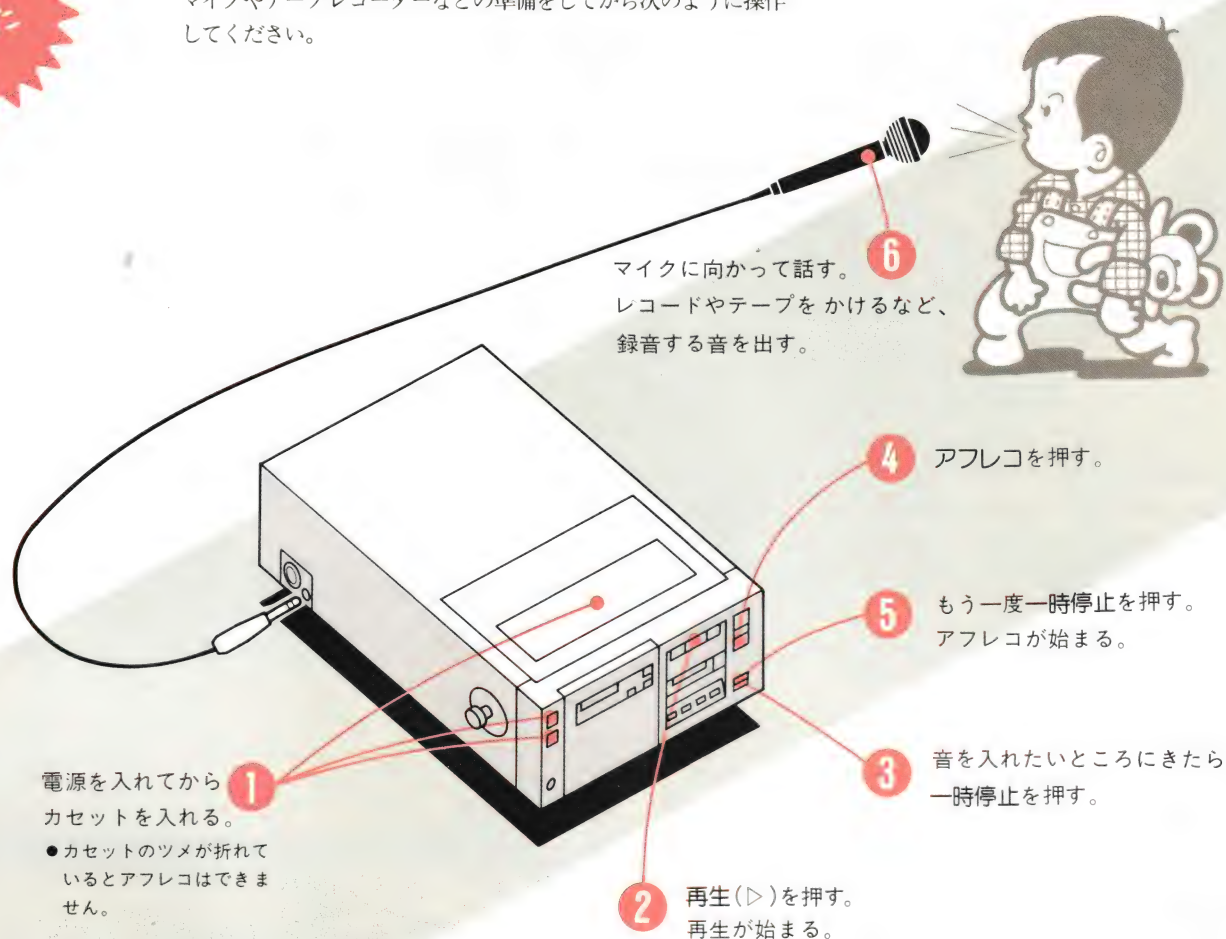
1 電源を入れてからカセットを入れる。
● カセットのツメが折れているとアフレコはできません。

2 **再生**（▷）を押す。再生が始まる。

3 音を入れたいところにきたら**一時停止**を押す。

4 **アフレコ**を押す。

5 もう一度**一時停止**を押す。アフレコが始まる。

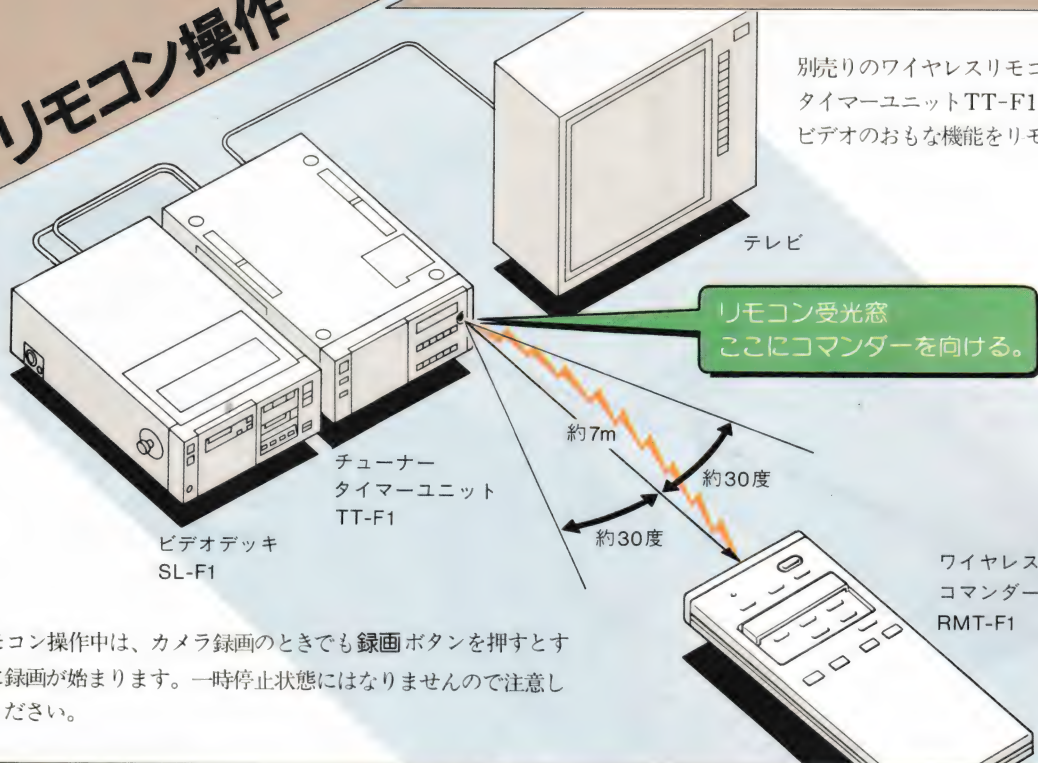
6 マイクに向かって話す。レコードやテープを かけるなど、録音する音を出す。

アフレコが終わったら……
停止ボタンを押してテープを止めてください。
一時的な中断なら**一時停止**ボタンが使えます。

マイク録音中にピーッという音がしたら
マイクがテレビのスピーカーに近すぎます。
テレビからマイクを離すか、テレビの音量を下げてください。

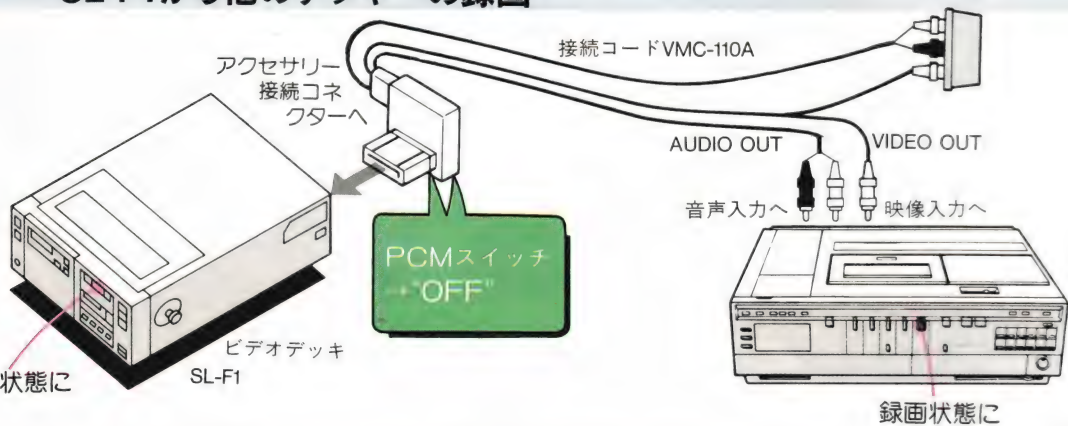
テープのはじめから音声を入れ換えたいときは

先に**アフレコ**ボタンを押しておさえたまま**再生**（▷）ボタンを押してください。
すぐに録音と画像の再生が始まります。

リモコン操作

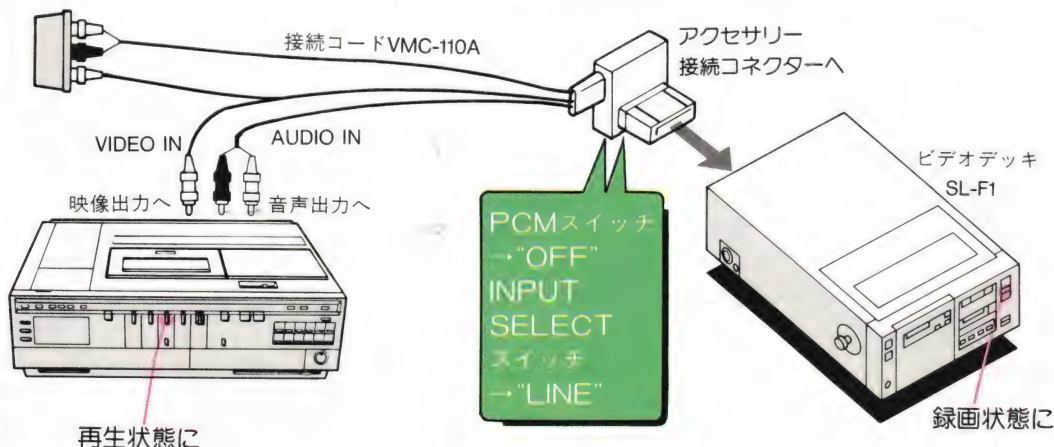
別売りのワイヤレスリモコン用コマンダーRMT-F1とチューナータイマーユニットTT-F1を組み合わせると、席にすわったまま、ビデオのおもな機能をリモコン操作することができます。

リモコン操作中は、カメラ録画のときでも録画ボタンを押すとすぐに録画が始まります。一時停止状態にはなりませんので注意してください。

テープコピー

SL-F1から他のデッキへの録画

他のデッキからSL-F1への録画

チューナータイマーユニットを使う場合は

チューナータイマーユニットの映像入力（または出力）をもう一台のビデオデッキの映像出力（または入力）に、音声入力（または出力）を相手の音声出力（または入力）につなぎます。

●映像信号の接続にはVMC-1S、音声の接続にはRK-69Aをお使いください。（相手のビデオデッキがステレオ機のときは、音声用にはRK-105Aが便利です。）

PCM録音/再生

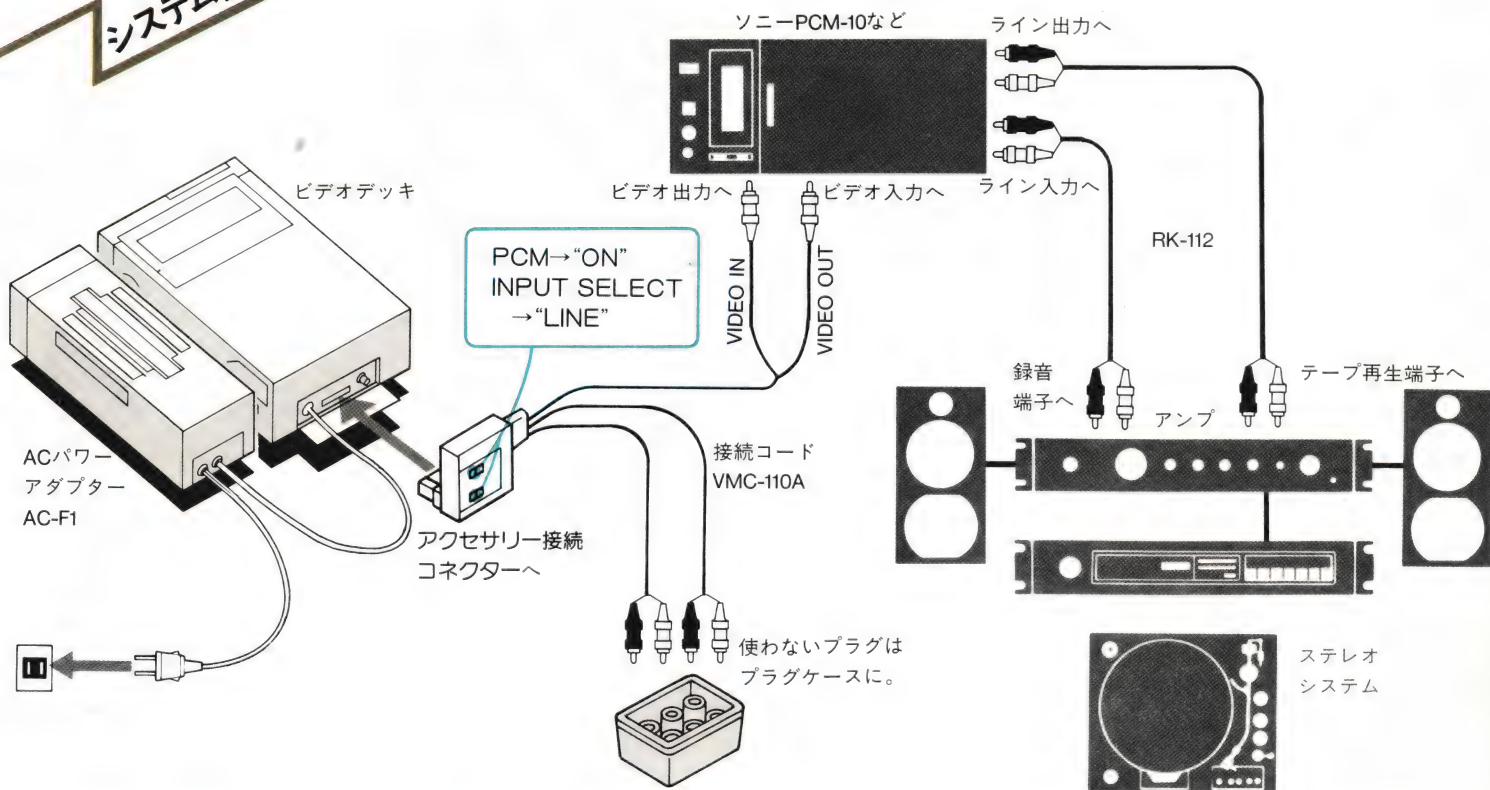
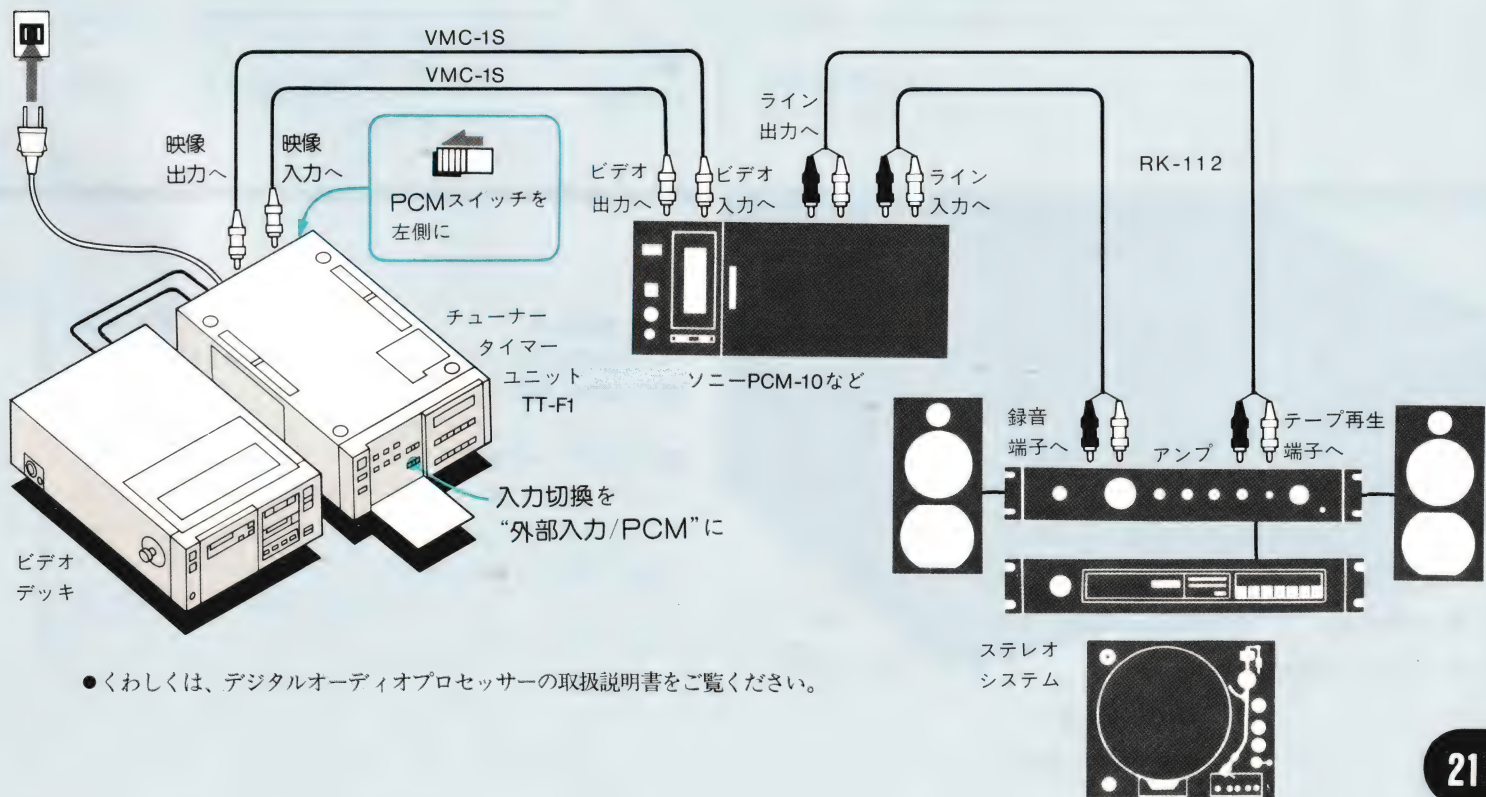
デジタルオーディオプロセッサーPCM-10などを使うと、このビデオデッキで、Hi-Fi音の録音や再生ができます。
オーディオのテープレコーダーでは得られない、広いダイナミックレンジと高S／Nのデジタルオーディオへの世界が広がります。

●PCM録音・再生は、βIIモードで行ってください。
また、ビデオカセットはL-500以下(L-250、L-125など)をお使いください。

システム接続図

ソニーPCM-10など
ライン出力へ
ライン入力へ
ビデオ出力へ
ビデオ入力へ
ビデオデッキ
PCM→"ON"
INPUT SELECT
→"LINE"
VIDEO IN
VIDEO OUT
RK-112
録音端子へ
テープ再生端子へ
アンプ
ACパワーアダプターAC-F1
接続コードVMC-110A
アクセサリー接続コネクターへ
使わないプラグはプラグケースに。
ステレオシステム

チューナータイマーユニットを使うときは

VMC-1S
VMC-1S
映像出力へ
映像入力へ
PCMスイッチを左側に
ビデオ出力へ
ビデオ入力へ
ライン出力へ
ライン入力へ
RK-112
チューナータイマーユニットTT-F1
ソニーPCM-10など
録音端子へ
アンプ
テープ再生端子へ
入力切換を"外部入力/PCM"に
ビデオデッキ
ステレオシステム

●くわしくは、デジタルオーディオプロセッサーの取扱説明書をご覧ください。

つまみやボタンの働き

❶ライトボタン
暗いところなどで、タイムカウンターが見づらいときに押します。押している間、カウンター部が照明されます。

❷テープリターンボタン
タイムカウンター“0H 0 0M 0S”の位置へ素早く戻したいとき、停止状態からこのボタンを押します。

❸ゼロセット ボタン
タイムカウンターの表示を“0H 0 0M 0S”にするとき押します。

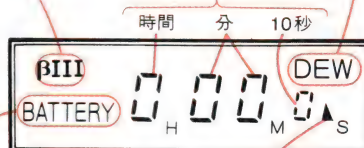
❹タイムカウンター部

録画中は録画時間スイッチで切り換えたモード、再生中は自動的に切り換えられたモードが表示される。

デッキ内部に水滴がつくと点滅。

ふつうの再生速度でのテープの走行時間を示す。

時間　分　10秒

βIII　0H 0 0M 0S　DEW
BATTERY

バッテリーパックの電池がなくなってくると点滅。

テープが正方向に動いているときは◣が点滅。
テープが逆方向に巻き戻されているときは◥が点滅。

⑳DC電源端子
ACパワーアダプターAC-F1（別売り）やカーバッテリーコードDCC-2400B（別売り）をつなぎます。

㉑アクセサリー接続コネクター
チューナータイマーユニットTT-F1(別売り)などをつなぎます。

❺電源スイッチ
押すと電源が入り、ランプがつきます。電源を切るときはもう一度押します。チューナータイマーユニット TT-F1 をつないだときは、このスイッチは働きません。TT-F1の**電源**スイッチでビデオデッキの電源も入/切されます。

❻カセット取出しボタン
ビデオカセットを入れるときや取り出すとき、このボタンを押してカセットホルダーを開けます。このボタンは、電源が入っていないときは働きません。

❼録画時間スイッチ
録画のとき、このスイッチでテープ速度を切り換えることにより、同じカセットテープでも録画できる時間を変えられます。
βⅢモードでは、βⅡモードの1.5倍の録画時間になります。
- 録画の途中で切り換えると画像や音声が乱れてしまうことがありますので注意してください。
- 再生中は、このスイッチがどこにあっても、自動的にテープ速度が切り換わります。

❽イヤホンジャック
アフレコやカメラ録画のとき、音声チェック用のイヤホンをつなぐことができます。

❾トラッキングつまみ
2倍速再生や逆戻り再生、他のビデオデッキで録画したカセットの再生のとき、画像が曲がったり、白くチラついた画面になる場合に、このつまみで調整します。見終わったら、必ずつまみを中央の位置へ戻しておいてください。

❿バッテリー挿入口と取出しボタン
バッテリーパック NP-1（別売り）を入れます。取り出すときは**取出し**ボタンを押します。

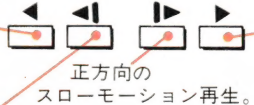
⓫巻戻し（◁◁）ボタン
テープを巻き戻すとき押します。再生中に押すと逆方向（後戻り）のピクチャーサーチができます。

⓬再生（▷）ボタン
録画したビデオを見るとき押します。

⓭録画（○）ボタン
録画するとき、このボタンを押しながら**再生（▷）**ボタンを押します。ふつうはこれで録画が始まります。ただし、カメラ録画のときは一時停止状態になりますので、カメラのテープ走行ボタンを押して録画を始めてください。

⓮早送り（▷▷）ボタン
テープを早送りするとき押します。再生中に押すと正方向のピクチャーサーチができます。

⓯アフレコボタン
録画済みのカセットにあとから音声だけを録音するとき使います。

⓰×2ボタン
2倍速再生するとき、再生中にこのボタンを押します。**再生（▷）**ボタンのランプが点滅します。ふつうの速度に戻すには、**再生（▷）**ボタンを押すか、もう一度このボタンを押してください。

⓱一時停止ボタン
録画、再生中にテープを一時的に止めるとき押します。再びテープを動かしたいときはもう一度押してください。再生中にこのボタンを押すと、静止画像が見られます。

⓲スイングサーチボタン
再生の一時停止状態からスローモーションやコマ送りができます。

逆戻り再生。チョンチョンと押すと逆方向のコマ送りができる。
逆方向のスローモーション再生。
正方向のスローモーション再生。
正方向のふつう速度再生。チョンチョンと押すとコマ送りができる。

指を離すと静止画像に戻ります。

⓳停止（■）ボタン
テープを止めるとき押します。

㉒VHF出力端子
チューナータイマーユニットTT-F1（別売り）のVHF入力コードや、テレビのVHFアンテナ端子と接続します。ビデオデッキの信号がここからチューナータイマーユニットやテレビに送られます。

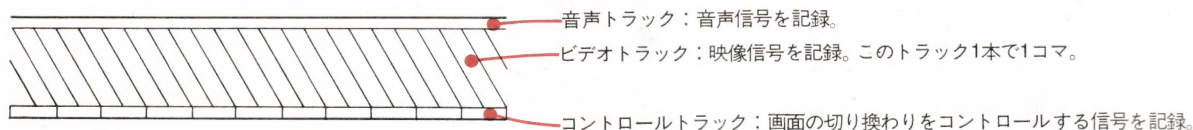
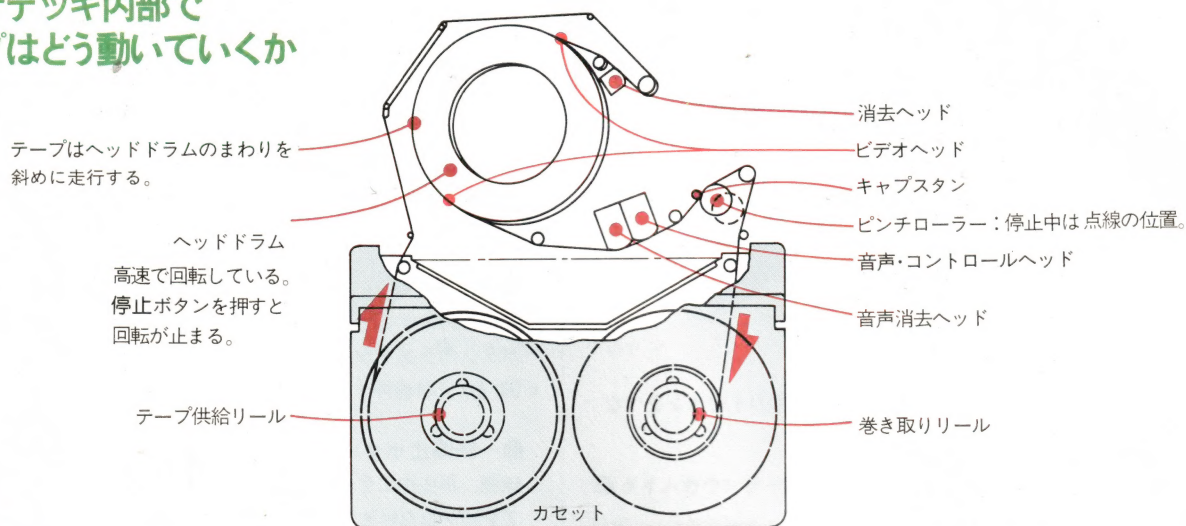
㉓チャンネル切換スイッチ
VHF出力端子から出る信号を1チャンネル（1CH）か2チャンネル（2CH）に切り換えるスイッチです。あなたの地域で放送のないチャンネルに合わせてください。

㉔カメラ端子（14ピンK型コネクター）
ソニービデオカメラ HVC-F1（別売り）などをつなぎます。映像と音声信号の受け渡しのほか、カメラへの電源もここから供給できます。

㉕マイクジャック（ミニジャック）
マイクを使って音声を録音するとき、ミニプラグ付きのマイクをつなぎます。マイクのプラグが標準タイプ（大きいプラグ）のときは、プラグアダプター PC-1A（別売り）をお使いください。

ビデオは音と画のでる魔法の箱。でも中をあけて見てはいけません。
あなたの好奇心を満足させるために、ここではほんのちょっと魔法の種明かしをしてみましょう。

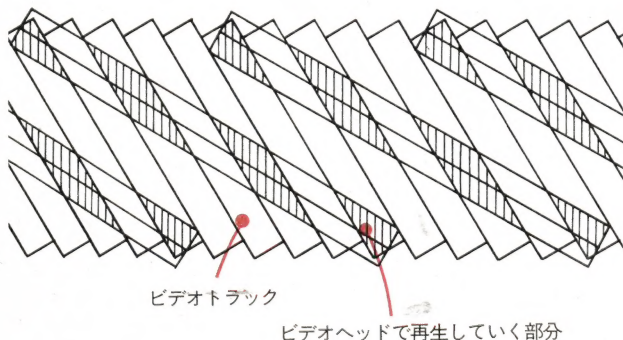
音と映像の信号は、どのようにテープに記録されるのか

ビデオでは、音の信号も映像の信号も磁気の強弱としてテープに記録されます。テープの割り当ては図のようになっています。

ビデオデッキ内部でテープはどう動いていくか

一時停止でつないだ録画のつなぎ目が乱れないのはどうしてか

「一時停止」状態にすると、コントロール信号で数個分、テープが自動的に巻き戻されて一時停止状態で待機しています。次に録画を始めるために一時停止を解除すると、巻き戻された部分のコントロール信号を数えて録画を始めるタイミングをぴったりと合わせるので、前の録画とスムーズにつながるわけです。

これに対してふつうのビデオでは、こうしたタイミング合わせが行なわれないため、つなぎ目で画像が乱れることがあります。

ピクチャーサーチは

通常より速いスピードでテープを送り、何本ものビデオトラックを横切って再生していくので、速い画像が得られます。このとき、ビデオトラックを横切るので画面には数本の横縞が入ります。

タイムカウンターはどうやって時間を計る

テープの走行時間が正確にわかる便利なカウンターです。これが可能なのはビデオテープにコントロール信号が記録されているからです。

コントロール信号は上の図でわかる通り2コマに1回——つまり1/30秒に1回——記録されるので、これをカウントすれば、秒まで正確に計ることができるわけです。

どうして静止画が見られるのか

斜めに何本も並んでいるビデオトラックの同じ部分だけをくり返し再生することによって、静止画像が見られます。

ときどき横縞が見えるのは、ヘッドが前後のトラックにまたがってしまうからです。

どうしてふつうのテレビで見られるのか

ビデオから出る信号が、ふつうのテレビ放送の電波と同じ性質のものに変えられているため、テレビのアンテナ端子につなぐだけでビデオの信号が見られます。このビデオデッキでは、出力信号を1チャンネルか2チャンネルのどちらかの信号に合わせて出しています。ですから、テレビ側では、ふつうのテレビのチャンネルを選ぶのと同じように、ビデオ用のチャンネルを選べば良いわけです。

主な仕様

システム

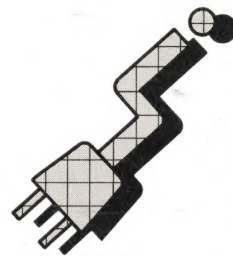
録画方式	回転2ヘッド　ヘリカルスキャン FM方式
映像信号	NTSCカラー方式　EIA標準方式
VHF出力	F型コネクター、75Ω不平衡 1CHまたは2CH切り換え式
使用可能カセット	βまたはβ□マークのついたビデオカセット
テープ速度	βⅢ：1.33cm/秒 βⅡ：2.00cm/秒 βⅠ：4.00cm/秒(再生のみ)
最大録画・再生時間	βⅡモード：180分 βⅢモード：270分 (ビデオカセット L-750使用時)
早送り・巻き戻し時間	約3分30秒 (ビデオカセット L-500使用時)
水平解像度	カラー　240本
映像S/N	45dB
音声周波数特性	βⅡモード：50Hz～10kHz βⅢモード：50Hz～7kHz
音声S/N	40dB（βⅡ、βⅢモードとも）

入出力端子

カメラコネクター	14ピンK型コネクター	
	映像入力	1Vp-p±0.5Vp-p 75Ω　不平衡、同期負
	映像出力	1Vp-p±0.5Vp-p 75Ω　不平衡、同期負
	音声入力	−20dBs (0dBs=0.775Vrms)
	音声出力	−5dBs(100kΩ負荷時) 出力インピーダンス10kΩ以下
	電源出力	DC 12V
アクセサリー接続コネクター	26ピンコネクター	
	映像入力	1Vp-p±0.5Vp-p 75Ω　不平衡、同期負
	映像出力	1Vp-p±0.5Vp-p 75Ω　不平衡、同期負
	音声入力	−5dBs、入力インピーダンス 100kΩ
	音声出力	−5dBs(100kΩ負荷時) 出力インピーダンス10kΩ以下
	電源入力	DC 12V
マイク入力	ミニジャック −60dBs、低インピーダンスマイク用	
イヤホン出力	ミニジャック −26dBs、8Ωイヤホン用	

電源部、その他

電源	動作電圧：DC 12V 使用可能電源 バッテリーパック　NP-1 AC 100V±10%、50/60Hz (チューナータイマーユニット TT-F1使用) AC 100V、50/60Hz (ACパワーアダプター AC-F1使用) 12V自動車バッテリー（カーバッテリーコードDCC-2400B使用）
消費電力	8.4W（DC動作時、カメラ含まず）
動作姿勢	水平、垂直
動作温度	5℃～40℃
保存温度	−20℃～+65℃
大きさ	215×80×305mm(幅／高さ／奥行き) 最大突起部を含まず
重さ	4.2kg（本体のみ）
付属品	肩かけベルト……1 コネクター付き同軸ケーブル……2 アンテナセレクターANS-32……1 アンテナコネクター EAC-24(75Ω→300Ω変換用)……1 EAC-25(300Ω→75Ω変換用)……1 イヤホン　ME-20H……1

本機の使用および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

故障かな？

修理にお出しになる前にもう一度点検を。

	症　状	原　因	処　置
電源	電源が入らない。	●充電式電池が消耗している。 ●ACパワーアダプターやチューナータイマーユニットが正しくつながれていない。	●充電の済んだ電池を使う。 ●4ページを見て正しくつなぎ、それぞれの電源スイッチを押す。
	電源が入っているのに動かない。	●ビデオデッキ内部に水滴がついている。	●タイムカウンターに“DEW”表示が出ていたら、表示が消えるまで待つ。
	電池の消耗が早い。	●温度が極端に低いところで使っている。 ●充電が不十分。	●周囲を布でくるむなどの保温処理をする。 ●充電し直す。
録画・再生	録画や再生中の画像がテレビに映らない。	●テレビのチャンネルがビデオに合っていない。 ●テレビのビデオ用チャンネルが正しく調整されていない。	●ビデオ用のチャンネル（1または2）に合わせる。（9ページ） ●テレビの取扱説明書を参照して、ビデオの画像がきれいに映るように微調整する。
	電源が途中で切れる。	●充電式電池で使用中、8分以上テープが止まっていた。	●電池の消耗をおさえるため自動的に切れるようになっているので、電源スイッチを押し直す。
	録画ができない。	●カセットのツメが折れている。	●ツメの折れていないカセットを使うか、ツメを折った穴をセロハンテープなどでふさぐ。
	録画しようと思った番組や画像が録画できなかった。	●カメラ録画のとき、カメラのテープ走行ボタンの操作が間違っていた。 ●チューナータイマーユニットをつないでいるとき、入力切換スイッチの位置が正しくない。	●カメラのビューファインダー内のランプを見て、テープが動いているかどうか確認しながらボタンを押すようにする。 ●カメラ録画のときは“カメラ”の位置に、テレビ録画は“内蔵チューナー”にする。
	画面がきれいに映らない。	●テレビのビデオ用チャンネルが正しく合っていない。 ●ビデオヘッドの汚れ。 ●別のビデオデッキで録画したテープを再生している。	●テレビの微調整つまみを調節する。 ●クリーニングカセットでクリーニングする。（17ページ） ●トラッキングつまみで調節する。（17ページ）
タイマー録画	タイマー録画ができない。	●予約した曜日と時刻が間違っていた。 ●チューナータイマーユニットのタイマー予約ボタンを押さなかった。 ●停電があった。 ●カセットのツメが折れている。またはカセットが入っていない。	●いったん予約したら必ず確認するように。 ●必ず予約済ランプがついていることを確かめる。 ●時計が“0：00”で止まっていたら停電があったためです。 ●ツメの折れていないカセットを入れる。
その他	テープが動いているのにタイムカウンターが働かない。	●テープに何も録画されていない。	●録画するか、すでに録画したテープを入れれば正常に働く。
	操作ボタンが働かない。	●テープが最初まで巻き戻されている。 またはテープが最後まで巻き取られている。	
	アフレコができない。	●テープに何も録画されていない。 ●カセットのツメが折れている。	●まず録画してから音声を録音する。 ●セロハンテープで穴をふさぐ。

ソニー株式会社　〒141 東京都品川区北品川6-7-35　お問い合わせ　お客様ご相談センター　(03)448-3311　Printed in Japan　3-783-636-01 (3)